

(様式第 10)

金大病総第 69 号  
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
山崎 光悦

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏 名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人金沢大学附属病院
----------------

3 所在の場所

〒920-8641	電話 (076) 265-2000
石川県金沢市宝町13番1号	

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	①	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		⑪リウマチ科
診療実績			
内分泌・代謝内科			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科	2消化器外科
5血管外科	⑥心臓血管外科
③乳腺外科	4心臓外科
⑦内分泌外科	8小児外科
診療実績 胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科	2矯正歯科
③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科、2腫瘍内科、3腫瘍外科、4漢方内科、5病理診断科、6リハビリテーション科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
46床	0床	0床	0床	792床	838床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	399人	90.4人	489.4人	看 護 補 助 者	48人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	11人	2.4人	13.4人	理 学 療 法 士	14人	臨床検査技師	58人
薬 剤 師	49人	1.5人	50.5人	作 業 療 法 士	6人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	10人	そ の 他	0人
助 産 師	19人	0人	19人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	833人	4.4人	837.4人	臨 床 工 学 士	16人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	0人	0.7人	0.7人	栄 養 士	0人	その他の技術員	20人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	146人
管理栄養士	8人	0.7人	8.7人	診 療 放 射 線 技 師	39人	そ の 他 の 職 員	32人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	50人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	38人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	9人
精 神 科 専 門 医	8人	放 射 線 科 専 門 医	23人
小 児 科 専 門 医	20人	脳 神 経 外 科 専 門 医	9人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	16人
泌 尿 器 科 専 門 医	12人	麻 酔 科 専 門 医	12人
産 婦 人 科 専 門 医	16人	救 急 科 専 門 医	7人
		合 計	240人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 蒲田 敏文 ) 任命年月日 平成28年4月1日

平成28年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	706.5人	5.2人	711.7人
1日当たり平均外来患者数	1513.8人	61.5人	1575.3人
1日当たり平均調剤数			1292.5剤
必要医師数			164.0人
必要歯科医師数			3.7人
必要薬剤師数			24人
必要(准)看護師数			411人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	462 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	22床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 202m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 12台		病床数	16床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 73m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	523m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、心電図解析用全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13C02分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機			
細菌検査室	94m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡			

病理検査室	112m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置	
病理解剖室	134m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 無影灯、解剖台、計量器	
研究室	752m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクブロッティングシステム、オートクレーブ、クリーン・ベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト	
講義室	267m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 1室	収容定員 300人
図書室	166m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 2室	蔵書数 1900冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	83.8%	逆紹介率	72.2%
算出根拠	A：紹介患者の数			11,120人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			10,052人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			541人
	D：初診の患者の数			13,917人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
秋野 裕信	福井大学医学部附属病院医療環境制御センター・医療安全管理部	○	医療安全管理部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・ <del>無</del>	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・ <del>無</del>	1
和田真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べるができるため	有・ <del>無</del>	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 本院 Web サイトに掲載	



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	0人
カペシタビン内服投与、シスプラチン静脈内投与及びドセタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
131I-MIBGを用いた内照射療法 難治性褐色細胞腫(パラガングリオーマを含む)	11人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	60
2	筋萎縮性側索硬化症	13	57	特発性拡張型心筋症	29
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	8	60	再生不良性貧血	108
6	パーキンソン病	74	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	5	63	特発性血小板減少性紫斑病	61
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	0	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	81	66	IgA腎症	18
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	13
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	55	68	黄色靱帯骨化症	14
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	16	69	後縦靱帯骨化症	82
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	75
17	多系統萎縮症	8	72	下垂体性ADH分泌異常症	8
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	22	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	7	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	32	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	61
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	7
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	16	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	112
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	29
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	13
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11
34	神経線維腫症	13	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	23	90	網膜色素変性症	10
36	表皮水疱症	4	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	76
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	24	95	自己免疫性肝炎	15
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	125
42	結節性多発動脈炎	20	97	潰瘍性大腸炎	137
43	顕微鏡的多発血管炎	27	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	11	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	13	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	267	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	117	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	392	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	46	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	35	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	7
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトロミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	14	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	14
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性痔炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・退院支援加算1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)	・精神疾患診療体制加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料2
・診療録管理体制加算2	・新生児特定集中治療室管理料2
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料
・急性期看護補助体制加算	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・看護補助加算2(50対1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1. 2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算あり	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(埋込型除細動器移行加算)	・検体検査管理加算(IV)
・高度難聴指導管理料	・国際標準検査管理加算
・糖尿病合併症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・埋込型心電図検査
・がん患者指導管理料1	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料2	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料3	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・人工臓器検査
・移植後患者指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・糖尿病透析予防指導管理料 注5の加算あり	・長期継続頭蓋内脳波検査
・院内トリアージ実施料	・神経学的検査
・外来リハビリテーション診療料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遠隔画像診断
・薬剤管理指導料	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料1	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料2	・大腸CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・心臓MRI撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・乳房MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・外来化学療法加算1
・遺伝学的検査	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)

施設基準の種類	施設基準の種類
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経カテーテル大動脈弁置換術
・精神科作業療法	・経皮的中隔心筋焼灼術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・埋込型心電図記録計移植術及び埋込型心電図記録計摘出術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・透析液水質確保加算2	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・一酸化窒素吸入療法	・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
・CAD/CAM冠	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・歯科技工加算	・補助人工心臓
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・ダメージコントロール手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・網膜再建術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術、人工中耳用材料	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・同種死体腎移植術

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体腎移植術	・
・膀胱水圧拡張術	・
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・輸血管理料Ⅱ	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	・
・病理診断管理加算	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
GSK3β経路を標的とする大腸がんの病態解明と治療法開発の基盤形成	源 利成	がん進展制御研究所	¥4,000,000	補委	日本学術振興会
肺がんの髄膜がん腫症における分子標的薬耐性を克服する研究	矢野 聖二	がん進展制御研究所	¥5,700,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉移行状態に基づいたKRAS変異肺がんに対する治療開発	衣斐 浩倫	がん進展制御研究所	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
大腸がんにおけるβ-カテニン核移送に作用する核膜孔複合体因子の探索と機能解析	源 利成	がん進展制御研究所	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
ALK肺癌のEMTに起因するALK-TKI耐性克服治療の開発	福田 康二	がん進展制御研究所	¥2,100,000	補委	日本学術振興会
X線動画イメージングによる胸部運動ならびに肺機能評価の試み	田中 利恵	保健学系	¥2,260,000	補委	日本学術振興会
出血リスクを増大しない抗血栓療法に向けて：スタチンによる新たな血栓阻止機構の解明	關谷 暁子	保健学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
感情の種類と大脳神経線維の関連の解明	中嶋 理帆	保健学系	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
揺動MRIによる脳腫瘍のバイオメカニクス評価法の確立	大野 直樹	保健学系	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
肝疾患におけるIFNλ4の機能的役割の解明	白崎 尚芳	保健学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
ドメスティック・バイオレンス被害女性の育児における困難感と回復を促す支援	藤田 景子	保健学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
発作性夜間血色素尿症(PNH)形質を利用したヒト造血幹細胞動態の解明	片桐 孝和	保健学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
肝炎ウイルス治療後の肝発癌機序とバイオマーカーの同定に関する研究	本多 政夫	保健学系	¥4,550,000	補委	日本学術振興会
新規2型糖尿病骨代謝モデルによる糖尿病骨代謝機構解析と運動による改善法の提案	北村 敬一郎	保健学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ-1が造血幹細胞移植後治療成績におよぼす効果と新規治療戦略	森下 英理子	保健学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
新しい概念を有するX線CT装置の線量・エネルギー評価法の確立	松原 孝祐	保健学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
「糖尿病腎症療養認識パターン分類尺度」を活用した腎症教育プログラムの検証	松井 希代子	保健学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
リハビリテーション技術確立のための運動学習における行動柔軟性に関する基礎研究	米田 貢	保健学系	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
長軸部位を考慮した廃用性筋萎縮予防介入の効果検証	山崎 俊明	保健学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
認知症の方の快適な身体活動と介護者の負担軽減につながる動作誘導・介助法を提案する	横川 正美	保健学系	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
グラビティMRIによる臨床用頭蓋内環境モニタリング法の確立	宮地 利明	保健学系	¥1,680,000	補委	日本学術振興会
低線量X線動画イメージングによる肺機能診断法の開発	田中 利恵	保健学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
間歇性跛行を有する患者の血行再建後の振動ケアがもたらす重症虚血肢移行遷延の検討	大桑 麻由美	保健学系	¥1,660,000	補委	日本学術振興会
膠原病患者の運動負荷中の心機能と体力の検討	染矢 富士子	保健学系	¥600,000	補委	日本学術振興会
母指と手指の新しい機能評価法に関する研究	西村 誠次	保健学系	¥275,000	補委	日本学術振興会

(42,425,000円)

小計25件

廃用性萎縮後の下肢筋に対する筋機能回復のための至適負荷強度および介入時期の検討	田中 正二	保健学系	¥800,000	補委	日本学術振興会
骨盤前傾座位時の坐骨結節部皮膚からの感覚情報は体幹位置の位置情報になる	浅井 仁	保健学系	¥400,000	補委	日本学術振興会
介助動作Re-positioningを頸部・腰部の圧迫力から判定する基礎的研究	柴田 克之	保健学系	¥290,000	補委	日本学術振興会
神経再生におけるcellular Factor XIII 活性化機構の解明	杉谷 加代	保健学系	¥1,150,000	補委	日本学術振興会
変形画像照合による積算線量分布の有用性を向上させる新たな部分的精度・信頼性の開発	武村 哲浩	保健学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
一体型SPECT/CT装置における心電図同期X線CT撮影の減弱補正法の確立	小野口 昌久	保健学系	¥800,000	補委	日本学術振興会
コンピュータ支援によるX線動態撮像ナビゲーションシステムの開発	真田 茂	保健学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
肥大型心筋症全例登録による発症と予後に関与する要因および治療法解明に関する研究	藤野 陽	保健学系	¥450,000	補委	日本学術振興会
肝細胞膜トランスポーターイメージングによる早期肝細胞癌スクリーニング手技の確立	小林 聡	保健学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
乳児の泣きに対する母親育児支援プログラムの構築	田淵 紀子	保健学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
超音波画像を利用した新規無侵襲性筋力推定法開発の試み	三秋 泰一	保健学系	¥930,000	補委	日本学術振興会
包括的1細胞遺伝子発現解析を用いたB型肝炎ウイルス感染機構の解明	本多 政夫	保健学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
中枢神経障害および神経細胞移植におけるアストロサイト活性化の抑制効果	中川 敬夫	保健学系	¥800,000	補委	日本学術振興会
関節不動に伴う筋線維芽細胞の発現と治療手技の効果判定	松崎 太郎	保健学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
統合失調症のネットワーク障害とバルブアルブミン陽性ニューロンのKCNS3発現低下	橋本 隆紀	医学系	¥4,200,000	補委	日本学術振興会
オミクス情報を駆使した全身型特発性関節炎分子病態の解明と先制医療開発	谷内江 昭宏	医学系	¥2,300,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮細胞癌の浸潤・転移機序の解明ならびに浸潤・転移阻止実験	川尻 秀一	医学系	¥2,700,000	補委	日本学術振興会
院外心停止に対する蘇生中止基準に関する研究	後藤 由和	医学系	¥800,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーと蛋白質アレイを用いた骨髄腫病態解析と新規治療法の開発	高松 博幸	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた遺伝性肝疾患の病態解析と治療への応用に関する研究	小林 武嗣	医薬保健学総合研究科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
心房細動がもたらす凝固異常の病態解析と血液診断法の開発	加藤 武史	医薬保健学総合研究科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
エクソームシーケンスを用いた新規高比重リポ蛋白代謝制御因子の発見とその機能解析	川尻 剛照	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
ホスホリラーゼ異常リン酸化による心不全発症機序の解明	今野 哲雄	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるFcγRの役割についての検討	濱口 儒人	医学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
人工知能と心疾患リスクモデルとを統合した次世代型画像診断システムの開発	中嶋 憲一	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
微弱磁場環境下・不凍物質添加低温保存肺の移植に関する研究	松本 勲	医学系	¥950,000	補委	日本学術振興会
RAGEにより誘導される骨肉腫幹細胞モデルの確立とその分子機構の解明	武内 章彦	医学系	¥1,425,000	補委	日本学術振興会
機能性脂質の代謝制御に着目した非アルコール性脂肪肝炎の発がん機構の解明	太田 嗣人	脳・肝インターフェースメディシン研究センター	¥1,700,000	補委	日本学術振興会

(33,595,000円)

小計28件

炎症性腸疾患の病態を修飾する腸内ウイルス叢を解明するメタゲノム解析	飯田 宗徳	医学系	¥550,000	補委	日本学術振興会
孤発性脳アミロイドアンギオパチーの伝播に関する研究	山田 正仁	医学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
骨髄不全におけるCXCR4陽性造血幹細胞を標的とした新規治療法の開発	中尾 眞二	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
「心の理論」ネットワークの再構築と機能温存を目的とした次世代覚醒下手術法の確立	木下 雅史	医学系	¥800,000	補委	日本学術振興会
HPV陽性中咽頭癌におけるウイルス発癌機構へのAIDの関与	中西 庸介	医学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
牽引を加えた手関節の可動域訓練の臨床応用	多田 薫	医学系	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
高齢者の水のホメオスターシス(恒常性維持)と高齢者骨格筋のニュー・コンセプト	杉本 直俊	医学系	¥550,000	補委	日本学術振興会
進行消化器癌に対するα線核種内照射療法による治療戦略の確立	絹谷 清剛	医学系	¥3,350,000	補委	日本学術振興会
エネルギー代謝を活性化する抗肥満機能性食品創出のための研究開発	太田 嗣人	医学系	¥4,100,000	補委	日本学術振興会
肝細胞がんの多様性・変幻性におけるMT1-MMP依存性分子経路の解析	清木 元治	医学系	¥300,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血におけるクローン性造血機序の解明	中尾 眞二	医学系	¥6,400,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の認知機能障害とパルプアルブミン陽性細胞のオキシトシンシグナル	橋本 隆紀	医学系	¥4,300,000	補委	日本学術振興会
アジア、オセアニアの高血糖尿病性腎症、腎硬化症のバイオマーカー、予後の国際比較	和田 隆志	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌に対する抗腫瘍免疫反応の意義の解明	寺島 健志	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
リアルタイム生理指標モニタリングを用いた新たな家族療法開発の試み	村松 朋子	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
遠隔シミュレーション教育の効果検証～チームダイナミクスと指導者育成の観点から～	太田 邦雄	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連へパトカインを制御する新規鍵転写因子の同定	御簾 博文	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
IVR技術による標的組織の微小循環系の制御を利用した抗腫瘍療法の開発	香田 渉	医学系	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種における組織内IL-17産生細胞の機能解析と造腫瘍性についての検討	伏田 幸夫	医学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
GSK3βを分子標的とする神経膠芽腫治療の基礎基盤の確立	宮下 勝吉	医学系	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
Wnt/β-catenin経路を介した分子標的治療の開発と抗腫瘍メカニズムの解明	山本 憲男	医薬保健学総合研究科	¥400,000	補委	日本学術振興会
糖化ストレスによる骨治癒遅延メカニズムの解明と新規治療薬の開発	松原 秀憲	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
Androgen/ARシグナルの抑制によるCCL20を介した免疫寛容誘導の解明	泉 浩二	医学系	¥1,250,000	補委	日本学術振興会
新しい角膜内皮移植(DMEK/DMAEK/PDEK)の確立とドナー接着機構の解明	小林 顕	医学系	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
スポーツ活動中の消化管水チャネル分子の動態と水吸収効率を主眼とした熱中症予防戦略	杉本 直俊	医学系	¥700,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病の先制医療にむけたキララアミノ酸の病態解析とバイオマーカー開発	和田 隆志	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
Immunomeのシングルセル解析に基づいた肝癌新規分類法の確立	水腰 英四郎	医学系	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
次世代プロテオミクスによる悪性グリオーマのバイオマーカー探索	中田 光俊	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会

(43,700,000円)

小計28件

癌骨転移の機序解明と新規治療法の開発	土屋 弘行	医学系	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
新規の幹細胞マーカーlaeverinとhTERTによる絨毛由来胎児幹細胞の解析	藤原 浩	医学系	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管の成熟性を評価可能な光音響イメージングの腫瘍放射線医学への応用	吉田 耕太郎	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
アカントアメーバ角膜炎の超早期診断法の開発と発症機序の解明	森 奈津子	医学系	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
嗜好食品ががん化、老化、発達障害を予防する—メチルキサンチン誘導体を中心として—	杉本 直俊	医学系	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞由来の造血幹細胞を利用した再生不良性貧血自己抗原の同定	中尾 眞二	医学系	¥600,000	補委	日本学術振興会
内分泌器官としての肝臓病の確立	金子 周一	医学系	¥2,960,000	補委	日本学術振興会
糖尿病臓器合併症の個別化医療にむけた抗エリスロポエチン受容体抗体の基礎臨床的検討	和田 隆志	医学系	¥2,500,000	補委	日本学術振興会
ドラッグリポジショニングによる悪性グリオーマに対する新規化学療法法の基盤構築	中田 光俊	医学系	¥2,300,000	補委	日本学術振興会
蛍光イメージングを用いた悪性骨軟部腫瘍の転移機序の解明と新規治療法の開発	土屋 弘行	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
AR Axis・微小環境を考慮した前立腺癌進行の機序解明と革新的治療戦略の構築	並木 幹夫	医学系	¥100,000	補委	日本学術振興会
胚由来の胚着床誘導因子(胚シグナル)の同定と臨床応用への試み	藤原 浩	医学系	¥2,300,000	補委	日本学術振興会
代償性増殖による上咽頭癌発癌機構の解明と治療戦略	吉崎 智一	医学系	¥2,500,000	補委	日本学術振興会
血中循環がん細胞解析を利用した小細胞肺癌の新規治療標的・バイオマーカーの同定	木村 英晴	医学系	¥600,000	補委	日本学術振興会
肺癌におけるcMetによるtopoisomeraseIの活性制御の解析	笠原 寿郎	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
EGFR遺伝子変異陰性肺癌におけるエルロチニブの効果予測因子の検討	曾根 崇	医薬保健学総合研究科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来間質細胞群の細胞分画特性解析と肝修復再生療法の開発	酒井 佳夫	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
内皮前駆細胞を流血中で捕捉・内皮化する新規ステントの開発と臨床応用	山岸 正和	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
多発性嚢胞腎における血管病変の発症および進展に関する因子の解明	山田 和徳	医学系	¥800,000	補委	日本学術振興会
細胞内蛋白質分解系のエネルギー代謝恒常性維持における統合的役割の解明	篁 俊成	医学系	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
ANGPTL8機能異常による冠動脈疾患進展の機序解明と制御	野原 淳	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
肝臓から分泌されるサイトカインの骨粗鬆症への影響	石井 清朗	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
全身型若年性特発性関節炎の発症に関する分子免疫学的解析とその臨床応用	清水 正樹	医学系	¥500,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症ならびに強皮症モデルマウスにおけるSyk阻害剤の有効性の検討	竹原 和彦	医学系	¥500,000	補委	日本学術振興会
放射線照射が硬膜に及ぼす影響—照射後髄液漏の原因究明—	村上 英樹	医学系	¥500,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いたショックへの新しい治療戦略	谷口 巧	医学系	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
ヒト乳頭腫ウイルスシグナル伝達に着目した喉頭乳頭腫に対する新規治療の開発	室野 重之	医学系	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
近視緑内障の病態解明と診断力アップのためのOCTプログラムの開発	杉山 和久	医学系	¥700,000	補委	日本学術振興会

(34,760,000円)

小計28件

新規ドラッグデリバリー理論と新世代シスプラチンによる頭頸部癌治療法の開発	吉崎 智一	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移における癌間質の役割	川尻 秀一	医学系	¥900,000	補委	日本学術振興会
大腸鋸歯状腺腫を前癌病変とする新たな大腸発癌経路の同定と発癌メカニズムの解明	澤田 武	医薬保健学総合研究科	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌の下セタキセルとカバジタキセル耐性化の機序とその克服	角野 佳史	医学系	¥100,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌の前転移ニッチ構築機構解明と治療用エクソソーム開発	脇坂 尚宏	医学系	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害幼児における遺伝子多型、脳内ネットワークと表現型の関係	菊知 充	子どものこころの発達研究センター	¥2,400,000	補委	日本学術振興会
注意欠陥・多動性障害における、幼児期の聴覚入力特性と「注意力」形成不全の関係	菊知 充	子どものこころの発達研究センター	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
小型ロボットを用いた自閉症スペクトラム症児へのインタラクションの改善	熊崎 博一	子どものこころの発達研究センター	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
新たな香り提示法による自閉症スペクトラム症児の嗅覚特性同定と療育への応用	熊崎 博一	子どものこころの発達研究センター	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
新たな香り提示方法による自閉症スペクトラム症児の嗅覚特性同定と療育への応用	熊崎 博一	子どものこころの発達研究センター	¥11,100,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症乳幼児の言語獲得および聴覚過敏に関連する聴覚情報処理過程の特性	吉村 優子	子どものこころの発達研究センター	¥900,000	補委	日本学術振興会
聴覚中枢発達期におけるプログラム細胞死	波多野 都	附属病院	¥870,136	補委	日本学術振興会
内因性免疫による頭頸部ウイルス発癌における内分泌攪乱物質の関与と新規治療法の開発	近藤 悟	附属病院	¥3,900,000	補委	日本学術振興会
極早期緑内障の網膜神経線維層欠損と網膜内層の進行様式と乳頭出血の関係の解明	宇田川 さち子	附属病院	¥510,000	補委	日本学術振興会
コンボリューション演算を応用した脊髄神経術中モニタリングにおける診断技術の研究	大江 宏康	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
リトドリン塩酸塩による切迫早産治療後の新生児低血糖症に関する検討	坂田 明子	附属病院	¥420,000	補委	日本学術振興会
血液がんにおけるA・B抗原減弱とその他の血液型減弱との関連性の検証	佐藤 英洋	附属病院	¥300,000	補委	日本学術振興会
中枢神経原発リンパ腫に対する多職種及び患者負担を軽減した大量MTXレジメンの確立	高林 真貴子	附属病院	¥350,000	補委	日本学術振興会
精神疾患患者の転帰要因と精神科作業療法の効果	高林 亮	附属病院	¥530,000	補委	日本学術振興会
16SrRNA解析を用いた検体からの細菌同定	坂井 優喜子	附属病院	¥570,000	補委	日本学術振興会
テロメラーゼ活性により検出した末梢血中腫瘍細胞の遺伝子解析	松本 多圭夫	附属病院	¥560,000	補委	日本学術振興会
腎コロボーマ症候群の遺伝子診断法確立と急性腎障害バイオマーカー開発	古市 賢吾	附属病院	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
心臓における交感神経刺激受容体に対するカテーテル焼灼の影響	村井 久純	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
遺伝性不整脈の新規原因遺伝子探索およびゼブラフィッシュを用いた不整脈重症度評価	林 研至	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
肝硬変微小環境による肝がん幹細胞発生維持制御機構の解明	山下 太郎	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における心筋内微小循環の評価と臨床応用	坂田 憲治	附属病院	¥300,000	補委	日本学術振興会
上皮-間葉連関に着目したLPA1-MRTF-SRFシグナルの腎線維化にはたす意義	坂井 宣彦	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
食品や化粧品に含まれる蛋白による脳βアミロイドシスの促進に関する研究	濱口 毅	附属病院	¥1,350,000	補委	日本学術振興会

(38,060,136円)

小計28件

モデルマウスを用いたIgG4関連疾患の病態の解明と治療法の確立	川野 充弘	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
N-13アンモニアPETと短時間撮影心筋SPECTの統合診断によるリスク層別化	松尾 信郎	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
梗塞後左室リモデリングの病態に関するマルチトレーサ生体分子イメージングの研究	瀧 淳一	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
血管外血小板凝集による乳癌細胞の転移形質獲得の病態解明と新規治療法の開発	井口 雅史	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を応用した骨軟部腫瘍切除後組織欠損の再生医療と蛍光イメージング評価	林 克洋	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌骨転移微小環境におけるCCL2を介した癌細胞増殖・浸潤機構の解明	成木 一隆	附属病院	¥100,000	補委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌に対するユビキチン-プロテアソーム系を標的とした治療戦略の確立	小中 弘之	附属病院	¥300,000	補委	日本学術振興会
婦人科癌におけるテロメラーゼ活性化機転に基づく末梢血腫瘍細胞の検出・解析法の確立	高倉 正博	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
咽頭扁桃におけるM細胞の機能解析：反復性中耳炎発症の内的因子の解明	杉本 寿史	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
ラット心筋虚血による梗塞巣へのサイトカイン吸着カラムを用いた血液浄化療法の効果	岡島 正樹	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の発症機構の解明	坂井 健二	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
関節炎の発症及び進展における腸内細菌叢の役割の解明	藤井 博	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
健診コホートをを用いた慢性腎臓病の進展および改善因子の縦断的検討	遠山 直志	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
肥満時の薬物動態変動による医薬品副作用の回避戦略	崔 吉道	附属病院	¥600,000	補委	日本学術振興会
長鎖ノンコーディングRNAを基軸としたC型慢性肝疾患の病態制御	島上 哲朗	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
心不全状態での肝臓機能の破綻が心臓リモデリングへ与える影響	薄井 荘一郎	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
進行性腎障害におけるTLR7を介した免疫担当細胞制御の意義	岩田 恭宜	附属病院	¥1,325,000	補委	日本学術振興会
PIGA遺伝子変異造血幹細胞の選択的増殖におけるCD109分子とTGF-βの役割	山崎 宏人	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
好中球二次顆粒欠損症の新規C/EBPε変異と好中球分化異常に関する研究	和田 泰三	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
培養肥満細胞による胸腺機能回復：骨髄移植における致死性的慢性GVHDの制御	西村 良成	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
慢性炎症を背景とした食道発癌におけるアラキドン酸カスケードの制御と発癌抑制効果	尾山 勝信	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
Zfp57遺伝子系をターゲットとした大腸癌に対する新規治療法の開発	高村 博之	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
肝の難病“類洞閉塞症候群”の病態解明と新規予防法・治療法の開発	田島 秀浩	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
多孔質足場を用いた動脈瘤開口部の新生血管壁構造の誘導実験	内山 尚之	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
不安定性を有する骨粗鬆性脊椎の力学解析-最適な強度を有する固定材料の模索-	出村 諭	附属病院	¥830,000	補委	日本学術振興会
変形性関節症の軟骨損傷に対する脂肪由来幹細胞を用いた予防と治療に関する基礎実験	加畑 多文	附属病院	¥575,000	補委	日本学術振興会
末梢血中における子宮内膜癌幹細胞の検出とその臨床的意義の検討	中村 充宏	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
顎変形症患者の周術期における気道通気状態と睡眠呼吸障害の解明	大井 一浩	附属病院	¥1,070,000	補委	日本学術振興会

(24,000,000円)

小計28件

薬物動態変動要因としての栄養組成および腸内細菌叢環境の関与	嶋田 努	附属病院	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
心房細動のリズム不整が血栓形成に及ぼす影響に関する検討	田中 仁啓	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
腸管免疫を介した腎・腸関連機序の解明	中出 祐介	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来肝細胞を用いた家族性高コレステロール血症に対する移植治療の検討	岡田 寛史	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチにおける糖鎖制御機構の解明	伊藤 清亮	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
MLL遺伝子再構成を有する難治性乳児白血病の病態解析から新規治療法開発を試みる	伊川 泰広	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
肝移植後拒絶反応における類洞血管外血小板凝集関与の解明と新規治療の開発	中沼 伸一	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
ビタミンB2投与による肺動脈血流を利用した肺区域同定法の開発	齋藤 大輔	附属病院	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
IL-10産生による中枢神経系悪性リンパ腫の免疫回避と増殖/浸潤機構の解明	笹川 泰生	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞シートを用いた革新的半月板縫合術の確立-ウサギを用いた基礎研究-	中瀬 順介	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
免疫寛容離脱を目的とした腎癌治療における脾臓摘除の可能性	野原 隆弘	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
精巣体積低下を伴う無精子症の原因の解明-X染色体遺伝子の網羅的解析-	飯島 将司	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌における新たなリキッド・バイオプシー法の開発と臨床応用	平井 信行	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
高濃度NaClによる抗癌剤内包ミセルの抗腫瘍効果増強とその動態	上野 貴雄	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の組織内血小板による浸潤、転移能獲得機構の解明	北原 寛子	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
放射線照射が脊椎の骨強度に与える影響-特に骨質に着目して-	加藤 仁志	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
Dual-energy CTにおける非造影下物質弁別システムの確立	濱口 隆史	附属病院	¥600,000	補委	日本学術振興会
アカデミアにおける臨床研究データ管理のCDISC準拠体制モデルの構築	高原 志津子	附属病院	¥650,000	補委	日本学術振興会
腎コロボーマ症候群特異的iPS細胞による腎臓病の病態解明	古市 賢吾	附属病院	¥600,000	補委	日本学術振興会
独自の抗菌ヨード担持加工とCAOS技術を融合したカスタムメイドインプラントの開発	楳野 良知	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌における肝幹細胞形質と上皮間葉移行発現に対する画像バイオマーカーの検討	米田 憲秀	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
新たに施行された臨床研究指針に対応するためのクラウド型モニタリングシステムの研究	栗林 義和	附属病院	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
シングルセル解析による次世代頭頸部癌個別化治療法の開発	近藤 悟	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
幹細胞低酸素ニッチに着目した軟骨膜片からの長期形態維持性軟骨移植材料の開発	小室 明人	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
交流磁場併用による抗がん剤薬理作用増強効果を利用した新規化学療法の開発	小林 誠	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織を用いた心不全再生医療に重要なサイトカイン抑制型因子の同定	高村 雅之	附属病院	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
セレノプロテインPを介した脂肪酸によるインスリン抵抗性回復機序の解明	竹下 有美枝	附属病院	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
心筋炎治療へ向けたリン酸ジエステル加水分解酵素阻害薬抗炎症効果の基礎研究	斉藤 剛克	附属病院	¥750,000	補委	日本学術振興会

(32,590,000円)

小計28件

強皮症モデルマウスにおけるサイトカイン産生B細胞の役割	松下 貴史	附属病院	¥2,200,000	補委	日本学術振興会
肝内胆管癌の遺伝子・分子生物学的機構に基づいたイメージバイオマーカーの研究	小坂 一斗	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
陽子線治療後肝癌の画像変化と治療効果判定方法の研究	高松 繁行	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
肝動脈化学塞栓療法における抗癌剤担体ナノ粒子の磁力による集積方法に関する研究	南 哲弥	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
逆流性食道炎による食道発癌過程でのエピゲノム変化とがん微小環境の解明とその制御	宮下 知治	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
大腸癌における Na <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> 交換輸送体阻害による新規抗癌治療法の開発	二宮 致	附属病院	¥300,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する新規強磁性体温熱療法とmTOR阻害剤の併用療法の開発	田村 昌也	附属病院	¥720,000	補委	日本学術振興会
数値流体解析の個別化による血管内治療後の脳動脈瘤再発の術前予測	見崎 孝一	附属病院	¥2,200,000	補委	日本学術振興会
卵管上皮に対する月経と排卵に伴う液性因子の発がん誘導作用の解析	水本 泰成	附属病院	¥1,250,000	補委	日本学術振興会
ミセル化バクリタキセルによる頭頸部癌次世代治療戦略と薬剤耐性克服への応用	遠藤 一平	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
時計遺伝子の遺伝子多型による正常眼圧緑内障の眼圧日内変動の予測	東出 朋巳	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
DIC病態における炎症と凝固のクロストークと血管作動性物質の役割	朝倉 英策	附属病院	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
逐次治療の評価における重み付き並び替え法を用いた新規推定法の開発	吉村 健一	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
高齢院外心肺停止傷病者における心肺蘇生および予後に関する研究	舟田 晃	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による新規LDLコレステロール代謝関連分子Xの発見とその機能解析	多田 隼人	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
M蛋白血症に起因する軽鎖結晶蓄積性組織球症による腎障害の病態解析と治療開発	原 怜史	附属病院	¥800,000	補委	日本学術振興会
脳脊髄液中のアミロイドβオリゴマー化抑制物質解明と早期診断・治療法開発の展開	池田 篤平	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎病態に対するヘパトカインLECT2の関与	島 孝佑	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連疾患における線維化・硬化病態の解明と治療法の確立	水島 伊知郎	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
女性ダウン病iPS細胞由来心筋を用いたXISTの役割と遺伝子治療の可能性について	吉田 昌平	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
オキシトシン長期投与による社会性の変化—脳磁図を用いた検討	廣澤 徹	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
甲状腺分化癌における新規分子標的薬の超早期適応決定	萱野 大樹	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
画像病理比較を基盤とした限局性自己免疫性膵炎と膵癌の高精度鑑別手法の確立	井上 大	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
光音響イメージングによる腎組織酸素飽和度測定と腎障害予後のバイオマーカーへの応用	奥村 健一郎	附属病院	¥700,000	補委	日本学術振興会
くも膜下出血後 EBI と転写因子 Nrf2 の関連についての検討	会田 泰裕	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
流体構造連成解析を用いたくも膜下出血発症時の重症度予測	南部 育	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
軟部肉腫のGSK3βを標的とする新規治療法の開発と分子メカニズムの解明	阿部 健作	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
ラットHUSモデルにおける新たな治療法の検討	栗田 昭英	附属病院	¥1,000,000	補委	日本学術振興会

(33,170,000円)

小計28件

子宮内膜症由来不死化細胞への性ホルモン受容体の遺伝子導入による病態解析	保野 由紀子	附属病院	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
電荷型白金抗癌剤による頭頸部癌新規治療戦略の基礎研究	笠原 善弥	附属病院	¥2,300,000	補委	日本学術振興会
AIDと上咽頭癌	加納 亮	附属病院	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
PETを用いた投球動作における全身骨格筋活動の検索：パフォーマンス向上と傷害予防	高田 泰史	附属病院	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
皮膚硬化慢性GVHDマウスにおける選択的S1P1阻害剤の有効性の検討	加納 美優	附属病院	¥900,000	補委	日本学術振興会
遺伝性不整脈の新規原因遺伝子検索およびゼブラフィッシュを用いた不整脈重症度評価	林 研至	附属病院	¥9,100,000	補委	日本学術振興会
子宮筋腫に対する新規治療戦略の開発	小野 政徳	附属病院	¥850,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病における腎-腸管連関の解明	篠崎 康之	附属病院	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
ヒト皮下脂肪由来エリート間葉系幹細胞の同定とその保有数に影響を与える因子の検証	井上 己音	附属病院	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫におけるRegulatory B細胞の役割についての解析	小林 忠弘	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
尿路HPV感染率と性器悪性腫瘍とHPVとの関連性についての検討	重原 一慶	附属病院	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	医学系	¥15,386,000	補委	厚生労働省
指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発	和田 隆志	医学系	¥3,840,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	医学系	¥1,000,000	補委	厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	医学系	¥250,000	補委	厚生労働省
腎臓病データベースの拡充・連帯強化と包括的データベースの構築	和田 隆志	医学系	¥700,000	補委	厚生労働省
難治性腎疾患に関する調査研究	和田 隆志	医学系	¥300,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン作成と患者レジストリの構築	谷内江 昭宏	医学系	¥1,000,000	補委	厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	山岸 正和	医学系	¥400,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	野原 淳	医学系	¥300,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	土屋 弘行	医学系	¥300,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	医学系	¥250,000	補委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	¥800,000	補委	厚生労働省
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する診断基準・重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	¥700,000	補委	厚生労働省
慢性的痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	中村 裕之	医学系	¥1,500,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	竹原 和彦	医学系	¥300,000	補委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	医学系	¥400,000	補委	厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	原田 憲一	医学系	¥300,000	補委	厚生労働省

(51,276,000円)

小計28件

抗リン脂質抗体関連血小板減少症の病態解明と治療指針	森下 英理子	保健学系	¥150,000	補委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	保健学系	¥750,000	補委	厚生労働省
遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	林 研至	附属病院	¥150,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	川野 充弘	附属病院	¥800,000	補委	厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	附属病院	¥300,000	補委	厚生労働省
効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究	島上 哲朗	附属病院	¥350,000	補委	厚生労働省
肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究	島上 哲朗	附属病院	¥1,000,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模他施設研究	加畑 多文	附属病院	¥100,000	補委	厚生労働省

(337,176,136円)

計257件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Hitoshi Omura, Naohiro Yoshida, Tomoyuki Hayashi, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Interobserver agreement in detection of ‘white globe appearance’ and the ability of educational lectures to improve the diagnosis of gastric lesions.	Gastric Cancer :2016	Original Article
2	Kaneko S, Ikeda K, Matsuzaki Y, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Safety and effectiveness of sorafenib in Japanese patients with hepatocellular carcinoma in daily medical practice: interim analysis of a prospective postmarketing all-patient surveillance study.	J Gastroenterol 51(10) : 1011-1021, 2016	Original Article
3	Tomoyuki Hayashi, Miyabi Miura, Hajime Takatori, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Argon plasma coagulation therapy after submucosal injection of normal saline solution for local recurrence of large nonampullary duodenal neoplasm.	VideoGIE 1:55-56, 2016	Original Article
4	Kiichiro Kaji, Eishiro Mizukoshi, Tatsuya Yamashita, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Cellular Immune Responses for Squamous Cell Carcinoma Antigen Recognized by T Cells 3 in Patients with Hepatocellular Carcinoma	PLoS One. 2017 Jan 23;12(1):e0170291. doi: 10.1371/journal.pone.0170291. eCollection 2017.	Original Article
5	Honda M, Shirasaki T, Terashima T, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Hepatitis B Virus (HBV) Core-Related Antigen During Nucleos(t)ide Analog Therapy Is Related to Intra-hepatic HBV Replication and Development of Hepatocellular Carcinoma.	J Infect Dis. 2016 Apr 1;213(7):1096-106.	Original Article

6	Kawaguchi K, Honda M, Yamashita T, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Jagged1 DNA Copy Number Variation Is Associated with Poor Outcome in Liver Cancer.	Am J Pathol. 2016 Aug;186(8):2055-67.	Original Article
7	Tomoyuki Hayashi, Yoshiro Asahina, Yohei Waseda, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Lidocaine spray alone is similar to spray plus viscous solution for pharyngeal observation during transoral endoscopy: a clinical randomized trial	Endosc Int Open. 2017 Jan;5(1):E47-E53.	Original Article
8	Mizukoshi E, Yamashita T, Arai K, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Myeloid-derived suppressor cells correlate with patient outcomes in hepatic arterial infusion chemotherapy for hepatocellular carcinoma.	Cancer Immunol Immunother. 2016 Jun;65(6):715-25.	Original Article
9	Takeshi Terashima, Tatsuya Yamashita, Noboru Takata, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Post-progression survival and progression-free survival in patients with advanced hepatocellular carcinoma treated by sorafenib	Hepatol Res. 2016 Jun;46(7):650-6.	Original Article
10	Terashima T, Yamashita T, Horii R, Arai K, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Potential efficacy of therapies targeting intrahepatic lesions after sorafenib treatment of patients with hepatocellular carcinoma.	BMC Cancer. 2016 May 31;16:338.	Original Article
11	Terashima T, Yamashita T, Arai K, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Response to chemotherapy improves hepatic reserve for patients with hepatocellular carcinoma and Child-Pugh B cirrhosis.	Cancer Sci. 2016 Sep;107(9):1263-9.	Original Article

12	Takegoshi K, Honda M, Okada H, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Branched-chain amino acids prevent hepatic fibrosis and development of hepatocellular carcinoma in a non-alcoholic steatohepatitis mouse model.	Oncotarget. 2017 Mar 14;8(11):18191-18205.	Original Article
13	Kaneko S, Ikeda K, Matsuzaki Y, 他	金沢大学附属病院消化器内科	Safety and effectiveness of sorafenib in Japanese patients with hepatocellular carcinoma in daily medical practice: interim analysis of a prospective postmarketing all-patient surveillance study.	J Gastroenterol. 2016 Oct;51(10):1011-21.	Original Article
14	Yamashita T, Nault JC	金沢大学附属病院総合診療科	Stemness of liver cancer: From hepatitis B virus to Wnt activation.	J Hepatol. 2016 Nov;65(5):873-875.	Others
15	Takamura M, Kurokawa K, Ootsuji H, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Long-Term Administration of Eicosapentaenoic Acid Improves Post-Myocardial Infarction Cardiac Remodeling in Mice by Institution: Kanazawa University Regulating Macrophage Polarization.	J Am Heart Assoc. 2017 Feb 21;6(2).	Original Article
16	Takatori O, Usui S, Okajima M, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Sodium 4-Phenylbutyrate Attenuates Myocardial Reperfusion Injury by Reducing the Unfolded Protein Response.	J Cardiovasc Pharmacol Ther. 2017 May;22(3):283-292.	Original Article
17	Kusayama T, Furusho H, Kashiwagi H, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Inflammation of left atrial epicardial adipose tissue is associated with paroxysmal atrial fibrillation.	J Cardiol. 2016 Nov;68(5):406-411.	Original Article

18	Hamaoka T, Omi W, Sekiguti Y, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Intestinal angina in a patient with hypertrophic obstructive cardiomyopathy: a case report.	J Med Case Rep. 2016 Sep 29;10(1):271	Case report
19	Takamura M, Usui S, Inoue O, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Adipose-derived regenerative cells exert beneficial effects on systemic responses following myocardial ischemia/reperfusion.	Cardiol J. 2016;23(6):685-693.	Original Article
20	Yaegashi T, Kato T, Usui S, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Short-term rapid atrial pacing alters the gene expression profile of rat liver: Cardiohepatic interaction in atrial fibrillation. Department of Disease Control and Homeostasis, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University, Kanazawa, Japan	Heart Rhythm. 2016 Dec;13(12):2368-2376.	Original Article
21	Takashima S, Usui S, Kurokawa K, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Altered gene expression in T-cell receptor signalling in peripheral blood leucocytes in acute coronary syndrome predicts secondary coronary events.	Open Heart. 2016 Jun 30;3(1):	Original Article
22	Yamamura M, Murai H, Kaneko S, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Case report: pericardial effusion with constrictive physiology in a patient with wet beriberi.	Nutr J. 2016 Apr 8;15:37.	Case report
23	Kikuchi A, Takamura T.	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	Where does liver fat go? A possible molecular link between fatty liver and diabetes.	J Diabetes Investig. 2017 Mar;8(2):152-154.	Review

24	Chikamoto K, Misu H, Takayama H, 他	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	Rapid response of the steatosis-sensing hepatokine LECT2 during diet-induced weight cycling in mice.	Biochem Biophys Res Commun. 2016 Sep 23;478(3):1310-6.	Original Article
25	Sakurai M, Nakamura K, Miura K, 他	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	Dietary carbohydrate intake, presence of obesity and the incident risk of type 2 diabetes in Japanese men.	J Diabetes Investig. 2016 May;7(3):343-51.	Original Article
26	Matsushima Y, Takeshita Y, Kita Y, 他	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	Pleiotropic effects of sitagliptin versus voglibose in patients with type 2 diabetes inadequately controlled via diet and/or a single oral antihyperglycemic agent: a multicenter, randomized trial.	BMJ Open Diabetes Res Care. 2016 Apr 19;4(1):	Original Article
27	Kitajima S, Iwata Y, Furuichi K, 他	金沢大学附属病院血液浄化療法部	Messenger RNA expression profile of sleep-related genes in peripheral blood cells in patients with chronic kidney disease.	Clin Exp Nephrol. 2016 Apr;20(2):218-25.	Original Article
28	Shimizu M, Furuichi K, Toyama T, 他	金沢大学附属病院血液浄化療法部	Serum Autotaxin Levels Are Associated with Proteinuria and Kidney Lesions in Japanese Type 2 Diabetic Patients with Biopsy-proven Diabetic Nephropathy.	Intern Med. 2016;55(3):215-21.	Original Article
29	Hara A, Furuichi K, Yamahana J, 他	金沢大学附属病院血液浄化療法部	Effect of autoantibodies to erythropoietin receptor in systemic lupus erythematosus with biopsy-proven lupus nephritis.	J Rheumatol. 2016 Jul;43(7):1328-34.	Original Article

30	Oshima M, Iwata Y, Furuichi K, 他	金沢大学附属病院血液浄化療法部	Association of apoptosis inhibitor of macrophage (AIM) expression with urinary protein and kidney dysfunction.	Clin Exp Nephrol. 2017 Feb;21(1):35-42.	Original Article
31	Sakai N, Chun J, Duffield JS, 他	金沢大学附属病院血液浄化療法部	Lysophosphatidic acid signaling through its receptor initiates profibrotic epithelial cell fibroblast communication mediated by epithelial cell derived connective tissue growth factor.	Kidney Int. 2017 Mar;91(3):628-641.	Original Article
32	Furuichi K, Yuzawa Y, Shimizu M, 他	金沢大学附属病院血液浄化療法部	Nationwide multicentre kidney biopsy study of Japanese patients with type 2 diabetes.	Nephrol Dial Transplant. 2017 Mar 2.	Original Article
33	Nohara A.	金沢大学附属病院循環器内科	Epicardial Adipose Tissue as a Predictor of Plaque Vulnerability in Patients With Mild Chronic Kidney Disease.	Circ J. 80(1):64-6,2016	Others
34	Nohara A.	金沢大学附属病院循環器内科	Optimal Treatment using Statins from Childhood in Heterozygous Familial Hypercholesterolemia.	J Atheroscler Thromb. 23(1):39-43,2016	Others
35	Hayashi K, Konno T, Fujino N, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Impact of updated diagnostic criteria for long QT syndrome on clinical detection of diseased patients: Results from study of patients carrying gene mutations.	JACC: Clinical Electrophysiology. 2(3):279-287,2016	Original Article

36	Konno T, Hayashi K, Fujino N, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Hypokalemia and the Disappearance of Giant Negative T Waves.	Intern Med. 55(5):545-6,2016	Case report
37	Funada A, Goto Y, Maeda T, 他	金沢大学附属病院救急部	Improved survival with favorable neurological outcome in elderly individuals with out-of-hospital cardiac arrest in Japan: a nationwide observational cohort study	Circ J. 80(5):1153-62,2016	Original Article
38	Funada A, Goto Y, Tada H, 他	金沢大学附属病院救急部	Age-specific differences in prognostic significance of rhythm conversion from initial non-shockable to shockable rhythm and subsequent shock delivery in out-of-hospital cardiac arrest	Resuscitation. 108:61-67,2016	Original Article
39	Tada H, Kawashiri MA, Konno T, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Common and Rare Variant Association Study for Plasma Lipids and Coronary Artery Disease	J Atheroscler Thromb. 23(3):241-56,2016	Original Article
40	Tada H, Kawashiri MA, Yoshida T, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Lipoprotein(a) in Familial Hypercholesterolemia With Proprotein Convertase Subtilisin/Kexin Type 9 (PCSK9) Gain-of-Function Mutations	Circ J. 80(2):512-8,2016	Original Article
41	Tada H, Kobayashi J, Kawashiri MA, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Changes in lipoprotein lipase and endothelial lipase mass in familial hypercholesterolemia during three-drug lipid-lowering combination therapy	Lipids Health Dis. 15(1):66,2016	Original Article

42	Tada H, Kawashiri MA, Okada H, 他	金沢大学附属病院循環器内科	A Rare Coincidence of Sitosterolemia and Familial Mediterranean Fever Identified by Whole Exome Sequencing	J Atheroscler Thromb. 23(7):884-90,2016	Original Article
43	Tada H, Kawashiri MA, Konno T, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Prevalence, clinical features, and prognosis of patients with extremely low high-density lipoprotein cholesterol	J Clin Lipidol. 10(6):1311-1317,2016	Original Article
44	Teramoto R, Sakata K, Miwa K, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Impact of Distal Protection with Filter-Type Device on Long-term Outcome after Percutaneous Coronary Intervention for Acute Myocardial Infarction: Clinical Results with Filtrap®	J Atheroscler Thromb. 23: 1313-1323,2016	Original Article
45	Nagata Y, Konno T, Hayashi K, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Myocardial Tissue Characterization of Left Ventricular Reverse Remodeling in Ischemic Cardiomyopathy.	Circ J. 80(12):2427-2428.,2016	Others
46	Nakahashi T, Sakata K, Nomura A, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Impact of Baseline Angiographic Complexities Determined by Coronary Artery Bypass Grafting SYNTAX Score on the Prediction of Outcome After Percutaneous Coronary Intervention.	Am J Cardiol. 118(7):974-9,2016	Original Article
47	Tanaka Y, Sakata K, Sakurai Y, 他	金沢大学附属病院循環器内科	Prevalence of Type A Acute Aortic Dissection in Patients with Out-of-hospital Cardiopulmonary Arrest	Am J Cardiol. 117:1826-1830,2016	Original Article

48	Karashima S, Yoneda T, Kometani M, 他	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	Angiotensin II receptor blocker combined with eplerenone or hydrochlorothiazide for hypertensive patients with diabetes mellitus.	Clin Exp Hypertens. 38(7):565-570, 2016	Original Article
49	Kometani M, Yoneda T, Demura M, 他	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	The long-term effect of adrenal arterial embolization for unilateral primary aldosteronism on cardiorenovascular protection, blood Pressure, and the endocrinological Profile.	Intern Med.55(7):769-73.2016	Case report
50	Yoneda T, Karashima S, Kometani M, 他	金沢大学附属病院内分泌・代謝内科	Impact of New Quick Gold Nanoparticle-Based Cortisol Assay During Adrenal Vein Sampling for Primary Aldosteronism	J Clin Endocrinol Metab. 101(6):2554-61,2016	Original Article
51	Mizushima I, Yamamoto M, Inoue D, 他	金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科	Factors related to renal cortical atrophy development after glucocorticoid therapy in IgG4-related kidney disease: a retrospective multicenter study	Arthritis Res Ther. 18(1):273,2016	Original Article
52	Kawano M, Yamada K.	金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科	IgG4-Related Kidney Disease and IgG4-Related Retroperitoneal Fibrosis.	Semin Liver Dis 36(3):283-90,2016	Review
53	Zoshima T, Yamada K, Hara S, 他	金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科	Multicentric Castleman Disease With Tubulointerstitial Nephritis Mimicking IgG4-related Disease: Two Case Reports.	Am J Surg Pathol. 40(4):495-501,2016	Case report

54	Takamatsu H, Araki R, Nishimura R, 他	金沢大学附属病院血液内科	Epstein-Barr virus-associated leukemic lymphoma after allogeneic stem cell transplantation	Journal of Clinical Virology 80 : 82-86 2016.09	Case report
55	Asakura H, Takahashi H, Uchiyama T, 他	金沢大学附属病院血液内科	Proposal for new diagnostic criteria for DIC from the Japanese Society on Thrombosis and Hemostasis.	Thromb J 28;14:42 2016.09	Review
56	Yoneda T, Kase K, Amino Y, 他	金沢大学附属病院呼吸器内科	A case of gingival cancer with pulmonary metastases that developed complete atrioventricular block and ventricular fibrillation as a result of myocardial metastases	ClinicalCaseReports 2016 Oct 10;4(12):1075-1081	Case report
57	Watanabe S, Waseda Y, Kasahara K.	金沢大学附属病院呼吸器内科	Author's reply: Old age may influence features of pleuroparenchymal fibroelastosis (PPFE): Lessons from a donkey model for PPFE.	Respir Investig. 54(5):382. 2016.09	Letter
58	Watanabe S, Kimura H, Takato H, 他	金沢大学附属病院呼吸器内科	Severe pneumonitis after nivolumab treatment in a patient with melanoma.	Allergol Int. 65(4):487-489 2016.10	Case report
59	Kimura H, Nishikawa S, Koba H, 他	金沢大学附属病院呼吸器内科	A Rapid and Sensitive Method for Detection of the T790M Mutation of EGFR in Plasma DNA.	Adv Exp Med Biol. 2016;924:171-174	Original Article

60	Watanabe S, Kasahara K, Waseda Y, 他	金沢大学附属病院呼吸器内科	Imatinib ameliorates bronchiolitis obliterans via inhibition of fibrocyte migration and differentiation.	J Heart Lung Transplant. 36:138-147. 2017.02	Original Article
61	Nakao S	金沢大学附属病院血液内科	Clinical Significance of a Small Population of Glycosylphosphatidylinositol-Anchored Membrane Proteins(GPI-Aps)-Deficient Cells in the Management of Bone Marrow Failure	Paroxysmal Nocturnal Hemoglobinuria 185-195 2017.01	Review
62	Nakagawa N, Yamazaki H, Aoki G, 他	金沢大学附属病院血液内科	Late Graft Rejection in Association With T-Large Granular Lymphocyte Expansion of Recipient Origin After Human Leukocyte Antigen-Haploidentical Stem Cell Transplantation: A Case Report.	Transplant Proc 48:3222-3224 2016.11	Case report
63	Nakao S	金沢大学附属病院血液内科	Diagnostic problems in acquired bone marrow failure syndromes.	Int J Hematol 104:151-152 2016.08	Others
64	Nakao S, Gale RP	金沢大学附属病院血液内科	Are mild/moderate acquired idiopathic aplastic anaemia and low-risk myelodysplastic syndrome one or two diseases or both and how should it/they be treated?	Leukemia 30:2127-2130 2016.11	Others
65	Noriyuki Ohkura, Johsuke Hara, Tamami Sakai, 他	金沢大学附属病院呼吸器内科	Bronchoconstriction-triggered cough in atopic cough: A retrospective study	Exp Lung Res. 2016 Jun;42(5):227-31	Original Article

66	Hamaguchi T, Taniguchi Y, Sakai K, 他	金沢大学附属病院神経内科	Significant association of cadaveric dura mater grafting with subpial A $\beta$ deposition and meningeal amyloid angiopathy	Acta Neuropathol 132:313-315, 2016	Letter
67	Iwasa K, Furukawa Y, Yoshikawa H, 他	金沢大学附属病院神経内科	Caveolin-3 is aberrantly expressed in skeletal muscle cells in myasthenia gravis	J Neuroimmunol 301:30-34, 2016	Original Article
68	Nakamura K, Hamaguchi T, Sakai K, Noto D, 他	金沢大学附属病院神経内科	Granuloma formation in a patient with GNE myopathy: a case report	Neuromuscul Disord 27:183-184, 2017	Case report
69	Noguchi-Shinohara M, Komatsu J, Samuraki M, 他	金沢大学附属病院神経内科	Cerebral amyloid angiopathy-related microbleeds and CSF biomarkers in Alzheimer's disease	J Alzheimers Dis 55:905-913, 2017	Original Article
70	Shima K, Iwasa K, Yoshita M, 他	金沢大学附属病院神経内科	Vernet's syndrome induced by internal jugular vein thrombosis	J Neurol Neurosurg Psychiatry 87:1252-1253, 2016	Others
71	Toda S, Iguchi Y, Ziqiao L, 他	金沢大学附属病院神経科精神科	Reconsidering animal models of major depressive disorder in the elderly.	Frontiers in Aging Neurosci, 8:188, 1-6, Epub 2016.8.8	Original Article

72	Fukai M, Hirosawa T, Takahashi T, 他	金沢大学附属病院神経科精神科	Clonazepam Improves Dopamine Supersensitivity in a Schizophrenia Patient:a Case Report.	Therapeutic Advances in Psychopharmacology、2016.12.2	Original Article
73	Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, 他	金沢大学附属病院子どものこころの診療科	Synchrony of auditory brain responses predicts behavioral ability to keep still in children with autism spectrum disorder: Auditory-evoked response in children with autism spectrum disorder.	Neuroimage Clin. 2016 Jul 22;12:300-5.	Original Article
74	Ikawa Y, Yachi Y, Inoue N, 他	金沢大学附属病院小児科	Neonatal McCune-Albright Syndrome with Giant Cell Hepatitis.	J Pediatr. 2016 Nov;178:298.	Case report
75	Ikawa Y, Fujita N, Yachi Y, 他	金沢大学附属病院小児科	Cover Image: Life-threatening complications of jellyfish <i>Chrysaora pacifica</i> stings in a 5-year-old child.	Br J Dermatol. 2016 Oct;175(4):837-8.	Case report
76	Inoue N, Ikawa Y, Sato A, 他	金沢大学附属病院小児科	Immunostaining of Sulfatide-Storing Macrophages in Gallbladder of a Patient With Metachromatic Leukodystrophy.	Pediatr Neurol. 2016 Nov;64:e3-e4.	Case report
77	Wada T, Matsuda Y, Toma T, 他	金沢大学附属病院小児科	Increased CD69 Expression on Peripheral Eosinophils from Patients with Food Protein-Induced Enterocolitis Syndrome.	Int Arch Allergy Immunol. 2016;170(3):201-5.	Original Article

78	Mizuta M, Shimizu M, Inoue N, 他	金沢大学附属病院小児科	Serum ferritin levels as a useful diagnostic marker for the distinction of systemic juvenile idiopathic arthritis and Kawasaki disease.	Mod Rheumatol. 2016 Nov;26(6):929-932.	Original Article
79	Inoue N, Shimizu M, Tsunoda S, 他	金沢大学附属病院小児科	Cytokine profile in adult-onset Still's disease: Comparison with systemic juvenile idiopathic arthritis.	Clin Immunol. 2016 Aug;169:8-13.	Original Article
80	Ikawa Y, Nishimura R, Araki R, 他	金沢大学附属病院小児科	Pathognomonic serum cytokine profiles identify life-threatening langerhans cell histiocytosis.	Br J Haematol. 2017 Feb;176(3):495-497.	Original Article
81	Wada T, Toma T, Yasui M, 他	金沢大学附属病院小児科	Different Clinical Phenotypes in 2 Siblings With X-Linked Severe Combined Immunodeficiency.	J Investig Allergol Clin Immunol. 2016;26(1):63-5.	Case report
82	Shimizu M, Inoue N, Mizuta M, 他	金沢大学附属病院小児科	Leopard skin appearance of cutaneous polyarteritis nodosa on 18Ffluorodeoxyglucose positron emission tomography.	Rheumatology (Oxford). 2016 Jun;55(6):1090.	Case report
83	Shimizu M, Inoue N, Kuroda M, 他	金沢大学附属病院小児科	Angiopietin-1 and -2 as markers for disease severity in hemolytic uremic syndrome induced by enterohemorrhagic Escherichia coli.	Clin Exp Nephrol. 2017 Feb;21(1):76-82.	Original Article

84	Tasaki Y, Shimizu M, Inoue N, 他	金沢大学附属病院小児科	Disruption of vascular endothelial homeostasis in systemic juvenile idiopathic arthritis-associated macrophage activation syndrome: The dynamic roles of angiotensin-1 and -2.	Cytokine. 2016 Apr;80:1-6.	Original Article
85	Inoue N, Sato A, Ikawa Y, 他	金沢大学附属病院小児科	Successful treatment of exertional heat stroke using continuous plasma diafiltration.	J Clin Apher. 2016 Oct;31(5):490-2.	Case report
86	Wada T, Akagi T	金沢大学附属病院小児科	Role of the Leucine Zipper Domain of CCAAT/ Enhancer Binding Protein-Epsilon (C/EBP $\epsilon$ ) in Neutrophil-Specific Granule Deficiency.	Crit Rev Immunol. 2016;36(4):349-358.	Review
87	Inoue N, Mizuta M, Shimizu M.	金沢大学附属病院小児科	Clinical Usefulness of <sup>18</sup> F-fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography for Enthesitis-related Arthritis Diagnosis.	J Rheumatol. 2016 Jul;43(7):1434-5.	Case report
88	Takata T, Ichikawa K, Mitsui W, 他	金沢大学附属病院放射線部	Object shape dependency of in-plane resolution for iterative reconstruction of computed tomography	Phys Med. 2017 Jan;33:146-151	Original Article
89	Takamatsu S, Yamamoto K, Maeda Y, 他	金沢大学附属病院放射線治療科	Evaluation of Focal Liver Reaction after Proton Beam Therapy for Hepatocellular Carcinoma Examined Using Gd-EOB-DTPA Enhanced Hepatic Magnetic Resonance Imaging	PLoS One. 2016 Dec 1;11(12):e0167155	Original Article

90	Inoue D, Yoneda N, Yoshida K, 他	金沢大学附属病院放射線科	Imaging and pathological features of gastric lesion of immunoglobulin G4-related disease: A case report and review of the recent literature	Mod Rheumatol. 2016 Jul 21:1-5	Case report
91	Kozaka K, Matsui O, Kobayashi S, 他	金沢大学附属病院放射線科	Dynamic CT findings of cholangiolocellular carcinoma: correlation with angiography-assisted CT and histopathology	Abdom Radiol (NY). 2017 Mar;42(3):861-869	Original Article
92	Yoneda N, Matsui O, Kitao A, 他	金沢大学附属病院放射線科	Benign Hepatocellular Nodules: Hepatobiliary Phase of Gadoteric Acid-enhanced MR Imaging Based on Molecular Background	Radiographics. 2016 Nov-Dec;36(7):2010-2027	Review
93	Matsushita T, Le Huu D, Kobayashi T, 他	金沢大学附属病院皮膚科	A novel splenic B1 regulatory cell subset suppresses allergic disease through phosphatidylinositol 3-kinase-Akt pathway activation	J Allergy Clin Immunol. 2016 Oct;138(4):1170-1182.e9.	Original Article
94	Iino K, Kato H, Yamamoto Y, 他	金沢大学附属病院心臓血管外科	Air blockage at coronary anastomosis detected by intraoperative epicardial ultrasonography.	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 Jul;50(1):186-7.	Case report
95	Tamura M, Matsumoto I, Saito D, 他	金沢大学附属病院呼吸器外科	Lymph node ratio as a prognostic factor in patients with pathological N2 non-small cell lung cancer.	World J Surg Oncol. 2016 Nov 25;14(1):295.	Original Article

96	Iino K, Miyata H, Motomura N, 他	金沢大学附属病院心臓血管外科	Prolonged Cross-Clamping During Aortic Valve Replacement Is an Independent Predictor of Postoperative Morbidity and Mortality: Analysis of the Japan Cardiovascular Surgery Database.	Ann Thorac Surg. 2017 Feb;103(2):602-609.	Original Article
97	Hayashi H, Takamura H, Ohbatake Y, 他	金沢大学附属病院肝胆膵・移植外科	Postoperative neutrophil-to-lymphocyte ratio of living-donor liver transplant: Association with graft size.	Asian J Surg. 2016 Apr;39(2):103-8.	Original Article
98	Miyashita T, Nakanuma S, Ahmed AK, 他	金沢大学附属病院肝胆膵・移植外科	Ischemia reperfusion-facilitated sinusoidal endothelial cell injury in liver transplantation and the resulting impact of extravasated platelet aggregation	Eur Surg. 2016;48:92-98	Original Article
99	Oyama K, Fushida S, Kaji M, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Evaluation of the efficacy of palonosetron for prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with gastric cancer treated with S-1 plus cisplatin.	Int J Clin Oncol. 2016 Jun;21(3):483-90	Original Article
100	Yamasaki Y, Fujimura T, Oyama K, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Effects of rabeprazole on bone metabolic disorders in a gastrectomized rat model	Biomed Rep. 2016 Jul;5(1):118-124	Original Article
101	Fushida S, Kinoshita J, Kaji M, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Paclitaxel plus valproic acid versus paclitaxel alone as second- or third-line therapy for advanced gastric cancer : a randomized Phase II trial	Drug Design, Development and Therapy, 10:2353-2358, 2016.07	Original Article

102	Miyashita T, Ahmed AK, Nakanuma S, 他	金沢大学附属病院肝胆膵・移植外科	A Three-phase Approach for the Early Identification of Acute Lung Injury Induced by Severe Sepsis	in vivo, 30(4):341-349, 2016.07-08	Original Article
103	Ishikawa S, Miyashita T, Inokuchi M, 他	金沢大学附属病院肝胆膵・移植外科	Platelets surrounding primary tumor cells are related to chemoresistance	Oncology Reports, 2016 Aug;36(2):787-94	Original Article
104	Ninomiya I, Okamoto K, Tsukada T, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Thoracoscopic Esophagojejunostomy in the Upper Mediastinum After Thoracoscopic Esophagectomy with Total Gastrectomy	J Laparoendosc Adv Surg Tech A, 2016 Sep;26(9):715-20	Original Article
105	Yamaguchi T, Fushida S, Yamamoto Y, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Tumor-associated macrophages of the M2 phenotype contribute to progression in gastric cancer with peritoneal dissemination	Gastric Cancer, 2016 Oct;19(4):1052-65	Original Article
106	Ohbatake Y, Fushida S, Tsukada T, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Elevated alpha1-acid glycoprotein in gastric cancer patients inhibits the anticancer effects of paclitaxel, effects restored by co-administration of erythromycin	Clinical and Experimental Medicine, 2016 Nov;16(4):585-592.	Original Article
107	Okamoto K, Ninomiya I, Hirose A, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Therapeutic Strategies with Multidisciplinary Local Therapy for Postoperative Recurrence of Esophageal Cancer (Article in Japanese)	Gan To Kagaku Ryoho (癌と化学療法), 43(12):1490-1492, 2016.11	Original Article

108	Okamoto K, Ninomiya I, Ohbatake Y, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Expression status of CD44 and CD133 as a prognostic marker in esophageal squamous cell carcinoma treated with neoadjuvant chemotherapy followed by radical esophagectomy	Oncology Reports, 2016 Dec;36(6):3333-3342	Original Article
109	Okazaki M, Fushida S, Harada S, 他	金沢大学附属病院胃腸外科	Establishing a xenograft mouse model of peritoneal dissemination of gastric cancer with organ invasion and fibrosis	BMC cancer, 2017 Jan 5;17(1):23.	Original Article
110	Hayashi H, Takamura H, Ohbatake Y, 他	金沢大学附属病院肝胆膵・移植外科	Postoperative changes in neutrophil-to-lymphocyte ratio and platelet count: A simple prognostic predictor for adult-to-adult living donor liver transplantation	Asian Journal of Surgery, 2017 Mar 29. pii: S1015-9584(16)30497-3.	Original Article
111	Demura S, Murakami H, Kato S, 他	金沢大学附属病院整形外科	Posterior curve correction using convex posterior hemi-interbody arthrodesis in skeletally immature patients with scoliosis.	Spine J. 16: 1152-6, 2016.	Original Article
112	Kato S, Murakami H, Demura S, 他	金沢大学附属病院整形外科	Spinal metastasectomy of renal cell carcinoma: A 16-year single center experience with a minimum 3-year follow-up.	J Surg Oncol. 113: 587-592, 2016.	Original Article
113	Kato S, Gasbarrini A, Ghermandi R, 他	金沢大学附属病院整形外科	Spinal chordomas dedifferentiated to osteosarcoma: a report of two cases and a literature review.	Eur Spine J. 25(suppl 1): 251-256, 2016.	Original Article

114	Kato S, Murakami H, Demura S, 他	金沢大学附属病院整形外科	The impact of complete surgical resection of spinal metastases on the survival of patients with thyroid cancer.	Cancer Med. 5: 2343-2349, 2016.	Original Article
115	Tada K, Yamamoto D, Nakajima T, 他	金沢大学附属病院整形外科	Arthrorisis for ulnar nerve palsy due to hyperextension of the elbow joint: A case report.	J Shoulder Elbow Surg. 25: 139-142, 2016.	Original Article
116	Kimura H, Yamamoto N, Shirai T, 他	金沢大学附属病院整形外科	Clinical Outcome of Reconstruction Using Frozen Autograft for a Humeral Bone Tumor.	Anticancer Res. 36: 6631-6635, 2016.	Original Article
117	Takeuchi A, Yamamoto N, Hayashi K, 他	金沢大学附属病院整形外科	Tenosynovial giant cell tumors in unusual locations detected by positron emission tomography imaging confused with malignant tumors: report of two cases.	BMC Musculoskelet Disord. 2016 Apr 26;17:180.	Original Article
118	Takeuchi A, Yamamoto N, Shirai T, 他	金沢大学附属病院整形外科	Clinical relevance of peroxisome proliferator-activated receptor-gamma expression in myxoid liposarcoma.	BMC Cancer. 2016 Jul 11;16:442.	Original Article
119	Takeuchi A, Tsuchiya H, Ishii T, 他	金沢大学附属病院整形外科	Clinical outcome of recurrent giant cell tumor of the extremity in the era before molecular target therapy: the Japanese Musculoskeletal Oncology Group study.	BMC Musculoskelet Disord. 2016 Jul 22;17:306.	Original Article

120	Shimozaki S, Yamamoto N, Domoto T, 他	金沢大学附属病院整形外科	Efficacy of glycogen synthase kinase-3 $\beta$ targeting against osteosarcoma via activation of $\beta$ -catenin.	Oncotarget. 7(47): 77038-51, 2016.	Original Article
121	Shimozaki S, Inatani H, Numata H, 他	金沢大学附属病院整形外科	A Novel Technique for Calcaneal Avulsion Fracture: A Case Report.	J Trauma Treatment. 5: 4, 2016.	Original Article
122	Inoue D, Kabata T, Maeda T, 他	金沢大学附属病院整形外科	The correlation between clinical radiological outcome and contact state of implant and femur using three-dimensional templating software in cementless total hip arthroplasty.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 26: 591-598, 2016.	Original Article
123	Yoshida Y, Matsubara H, Takata M, 他	金沢大学附属病院整形外科	Lengthening for functional acetabular dysplasia due to limb length discrepancy: A report of two cases.	J Limb Lengthen Reconstr. 2: 55-58, 2016.	Original Article
124	Yoshida Y, Matsubara H, Aikawa T, 他	金沢大学附属病院整形外科	Complications related to fibula resection during tibial lengthening performed with the Taylor Spatial Frame.	J Limb Lengthen Reconstr. 2: 82-85, 2016.	Original Article
125	Numata H, Nakase J, Inaki A, 他	金沢大学附属病院整形外科	Effects of the electrode skeletal muscle electrical stimulation system on lower extremity skeletal muscle activity: evaluation using positron emission tomography.	J Orthop Sci. 21: 53-6, 2016.	Original Article

126	Oshima T, Nakase J, Numata H, 他	金沢大学附属病院整形外科	The cross-sectional shape of the fourfold semitendinosus tendon is oval, not round.	J Exp Orthop. 3(1):28. 2016.	Original Article
127	Takata Y, Nakase J, Inaki A, 他	金沢大学附属病院整形外科	Changes in muscle activity after performing the FIFA 11+ programme part 2 for 4 weeks.	J Sports Sci. 34: 2011-2017, 2016.	Original Article
128	Takata Y, Nakase J, Numata H, 他	金沢大学附属病院整形外科	Computed tomography value and tunnel enlargement of round and rounded rectangular femoral bone tunnel for anterior cruciate ligament reconstruction.	Arch Orthop Trauma Surg. 136: 1587-1594, 2016.	Original Article
129	Abe K, Yamamoto N, Hayashi K, 他	金沢大学附属病院整形外科	Balancing Prolonged Survival with QoL Using Low-dose Pazopanib Maintenance: A Comparison with the PALETTE Study.	Anticancer Res. 36: 2893-2897, 2016.	Original Article
130	Ohmori T, Katsuo S, Sunayama C, 他	金沢大学附属病院整形外科	Irreducible plantar dislocation of the interphalangeal joint of the great toe due to an accessory sesamoid bone: a case report.	Arch Orthop Trauma Surg. 136: 533-537, 2016	Original Article
131	Ohmori T, Katsuo S, Sunayama C, 他	金沢大学附属病院整形外科	A Case Report of Isolated Cuboid Nutcracker Fracture.	Case Rep Orthop. 2016;2016:3264172.	Original Article

132	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y, 他	金沢大学附属病院整形外科	Safe zone for transacetabular screw fixation using a Kerboul cross-plate: A CT-scan templating prospective study.	Orthop Traumatol Surg Res. 102: 1017-1022, 2016.	Original Article
133	Yamamoto D, Yamauchi D, Tsuchiya H.	金沢大学附属病院整形外科	Intraneural lipoma of the posterior interosseous nerve.	J Hand Surg Eur. 41: 882-883, 2016.	Original Article
134	Sugita S, Murakami H, Kato S, 他	金沢大学附属病院整形外科	Disappearance of lung adenocarcinoma after total en bloc spondylectomy using frozen tumor-bearing vertebra for reconstruction.	Eur Spine J. 25 Suppl 1: 53-57, 2016.	Original Article
135	Hamada T, Matsubara H, Kimura H, 他	金沢大学附属病院整形外科	Intra-articular osteoid osteoma of the calcaneus: a case report and review.	Radiol Case Rep. 11: 212-6, 2016.	Original Article
136	Shimozaki K, Nakase J, Ohashi Y, 他	金沢大学附属病院整形外科	Ipsilateral Medial and Lateral Discoid Meniscus with Medial Meniscus Tear.	J Orthop Case Rep. 2016 Sep-Oct;6(4):9-12	Original Article
137	Iwamoto H, Izumi K, Shimura Y, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Metastasectomy Improves Survival in Patients with Metastatic Urothelial Carcinoma	Anticancer Res. 2016 Oct;36(10):5557-5561.	Original Article

138	Takezawa Y, Izumi K, Shimura Y, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Treatment outcome of low-dose interleukin-2 therapy in patients with metastatic renal cell carcinoma.	Anticancer Res. 2016;36:4961-4.	Original Article
139	Shigehara K, Konaka H, Ijima M, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	The correlation between highly sensitive C-reactive protein levels and erectile function among men with late-onset hypogonadism.	Aging Male. 2016 Dec;19(4):239-243.	Original Article
140	Kadono Y, Nohara T, Kadomoto S, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Investigating urinary conditions prior to robot-assisted radical prostatectomy in search of a desirable method for evaluating post-prostatectomy incontinence.	Anticancer Res. 2016;36:4293-8.	Original Article
141	Kadono Y, Ueno S, Kadomoto S, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Use of preoperative factors including urodynamic evaluations and nerve-sparing status for predicting urinary continence recovery after robot-assisted radical prostatectomy: Nerve-sparing technique contributes to the reduction of postprostatectomy incontinence.	Neurourol Urodyn. 2016;35:1034-9.	Original Article
142	Nakashima K, Kitagawa Y, Izumi K, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Diagnostic accuracy of pre-operative imaging finding in presumed clinical T1a renal cell carcinoma.	Oncol Lett. 2016;11:3189-93.	Original Article
143	Mizokami A, Izumi K, Namiki M.	金沢大学附属病院泌尿器科	Role of adrenal androgen in prostate cancer	Nihon Rinsho. 2016;74 Suppl 3:99-105.	Review

144	Shigehara K, Miyagi T, Nakashima T, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Effects of dutasteride on lower urinary tract symptoms: a prospective analysis based on changes in testosterone/dihydrotestosterone levels and total prostatic volume reduction.	Aging Male 2016; 19: 128-33.	Original Article
145	Shigehara K, Namiki M.	金沢大学附属病院泌尿器科	Clinical Management of Priapism: A Review.	World J Mens Health 2016; 34: 1-8.	Review
146	Shigehara K, Konaka H, Ijima M, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	The correlation between highly sensitive C-reactive protein levels and erectile function among men with late-onset hypogonadism	Aging Male 2016; 19: 239-243.	Original Article
147	Kadono Y.	金沢大学附属病院泌尿器科	Editorial Comment from Dr Kadono to Postoperative urinary incontinence exacerbates nocturia-specific quality of life after robot-assisted radical prostatectomy	Int J Urol 23(10): 878-9, 2016.	Others
148	Kadono Y, Ueno S, Kadomoto S, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Use of preoperative factors including urodynamic evaluations and nerve-sparing status for predicting urinary continence recovery after robot-assisted radical prostatectomy: Nerve-sparing technique contributes to the reduction of postprostatectomy incontinence.	Neurourol Urodyn. 2016 Nov;35(8):1034-1039.	Original Article
149	Kadono Y, Nohara T, Kadomoto S, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Investigating Urinary Conditions Prior to Robot-assisted Radical Prostatectomy in Search of a Desirable Method for Evaluating Post-prostatectomy Incontinence.	Anticancer Res. 2016 Aug;36(8):4293-8.	Original Article

150	Takezawa Y, Kadono Y(correspond), Nohara T, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Urinary Obstruction of Transplanted Kidney Caused by Uterine Adenomyosis and 2-Year Posthysterectomy Psoas Abscess in Conjunction with Transplanted Kidney	Case Rep Transplant. 2016, Article ID 7142537, 3 pages	Case report
151	Kadono Y, Machioka K, Nakashima K, 他	金沢大学附属病院泌尿器科	Changes in penile length after radical prostatectomy: Investigation of anatomical mechanism	BJU Int. 2017 Feb 8. on line.	Original Article
152	Yokogawa H, Tang M, Li Y, 他	金沢大学附属病院眼科	Deep Laser-Assisted Lamellar Anterior Keratoplasty With Microkeratome-Cut Grafts.	Cornea. 35(5):706-12, 2016	Original Article
153	Yokogawa H, Sanchez PJ, Mayko ZM, 他	金沢大学附属病院眼科	Corneal Astigmatism Stability in Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty for Fuchs Corneal Dystrophy	Cornea. 35(7):932-937, 2016	Original Article
154	Higashide T, Ohkubo S, Sugimoto Y, 他	金沢大学附属病院眼科	Persistent hypotony after trabeculectomy: incidence and associated factors in the Collaborative Bleb-Related Infection Incidence and Treatment Study.	Jpn J Ophthalmol. 60 (4):309-318, 2016	Original Article
155	Kobayashi A, Yokogawa H, Mori N, 他	金沢大学附属病院眼科	Visualization of pre-cut DSAEK and pre-stripped DMEK donor corneas by intraoperative optical coherence tomography using the RESCAN 700	BMC Ophthalmology. 16:135,2016	Original Article

156	Okuda T, Higashide T, Kobayashi K, 他	金沢大学附属病院眼科	MACULAR HOLE CLOSURE OVER RESIDUAL SUBRETINAL FLUID BY AN INVERTED INTERNAL LIMITING MEMBRANE FLAP TECHNIQUE IN PATIENTS WITH MACULAR HOLE RETINAL DETACHMENT IN HIGH MYOPIA.	Retin Cases Brief Rep.10(2):140-4, 2016	Original Article
157	Yokogawa H, Sanchez PJ, Mayko ZM, 他	金沢大学附属病院眼科	Astigmatism Correction With Toric Intraocular Lenses in Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty Triple Procedures.	Cornea. 36(3):269-274, 2017	Original Article
158	Wakisaka N, Hirai N, Kondo S, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	T-status and an oral fluoropyrimidine, S-1, adjuvant chemotherapy are prognostic factors in reduced-RADPLAT for resectable hypopharyngeal cancer	Acta Otolaryngol 136 8 834-40 2016	Original Article
159	Murono S, Ishikawa E, Nakanishi Y, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Closure of tracheoesophageal fistula with prefabricated deltopectoral flap	Asian J Surg 39 4 243-6 2016	Original Article
160	Murono S, Nakanishi Y, Tsuji A, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Intralesional cidofovir injection for recurrent respiratory papillomatosis in Japan	Auris Nasus Larynx 43 5 541-5 2016	Original Article
161	Yagi-Nakanishi S, Kondo S, Kaneda M, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Olfactory Dysfunction in IgG4-Related Disease	Chem Senses 41 9 721-5 2016	Original Article

162	Endo K, Kase K, Yoshizaki T	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Endoscope-assisted transoral approach for intramasseteric schwannoma	Eur Ann Otorhinolaryngol Head Neck Dis 16 30187-9 2016	Original Article
163	Hatano M, Ito M, Sugimoto H, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Soft-wall reconstruction of the canal wall with retrograde bone work for pediatric cholesteatoma: Long-term results	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 91 159-65 2016	Original Article
164	Hirai N, Wakisaka N, Kondo S, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Potential Interest in Circulating miR-BART17-5p As a Post-Treatment Biomarker for Prediction of Recurrence in Epstein-Barr Virus-Related Nasopharyngeal Carcinoma	PLoS One 11 9 e0163609 2016	Original Article
165	Aga M, Kondo S, Wakisaka N, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Siah-1 is associated with expression of hypoxia-inducible factor-1 $\alpha$ in oral squamous cell carcinoma	Auris Nasus Larynx 44 2 213-9 2017	Original Article
166	Kano M, Kondo S, Wakisaka N, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The influence of human papillomavirus on nasopharyngeal carcinoma in Japan	Auris Nasus Larynx 44 3 327-32 2017	Original Article
167	Sugimoto H, Hatano M, Noda M, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Cochlear implantation in deaf patients with eosinophilic otitis media using subtotal petrosectomy and mastoid obliteration	Eur Arch Otorhinolaryngol 274 2 1173-7 2017	Original Article

168	Seishima N, Kondo S, Wakisaka N, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	EBV infection is prevalent in the adenoid and palatine tonsils in adults	J Med Virol 89 6 1088-95 2017	Original Article
169	Kondo S, Wakae K, Wakisaka N, 他	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	APOBEC3A associates with human papillomavirus genome integration in oropharyngeal cancers	Oncogene 36 12 1687-97 2017	Original Article
170	Bono Y, Mizumoto Y, Nakamura M, 他	金沢大学附属病院産科婦人科	FDG-PET-positive ovarian thecoma with GLUT5 expression: Five cases.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Mar;43(3):599-603.	Case report
171	Obata T, Nakamura M, Mizumoto Y, 他	金沢大学附属病院産科婦人科	Synchronous endometrioid adenocarcinomas in the uterine cervix and corpus.	J Obstet Gynaecol Res. 2016 Oct;42(10):1390-1394.	Case report
172	Kagami K, Yamazaki R, Minami T, 他	金沢大学附属病院産科婦人科	Familial discrepancy of clinical outcomes associated with fibrinogen Dorfen: A case of huge genital hematoma after episiotomy.	J Obstet Gynaecol Res. 2016 Jun;42(6):722-725.	Case report
173	Kita D, Hayashi Y, Fukui I, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Simultaneous ventriculoperitoneal shunt removal and endoscopic third ventriculostomy for three patients previously treated for intracranial germ cell tumors more than 20 years ago	Child's Nervous System 32: 1543-7, 2016	Case report

174	Uchiyama N, Misaki K, Mohri M, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Treatment result in the initial stage of Kanazawa mobile embolectomy team for acute ischemic stroke.	Neurol Med Chir (Tokyo). 56: 737-744, 2016	Original Article
175	Hayashi Y, Kita D, Iwato M, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Significant improvement of intractable headache after transsphenoidal surgery in patients with pituitary adenomas; preoperative neuroradiological evaluation and intraoperative intrasellar pressure measurement.	Pituitary 19 (2):175-182, 2016	Original Article
176	Hayashi Y	金沢大学附属病院脳神経外科	Vascular anatomy and complications of pituitary adenomas, and treatment with endoscopic endonasal transsphenoidal surgery; Pituitary Adenoma: Pathophysiology, Diagnosis and Treatment Options	Nova Science Publishers, Inc. Chapter 12;261-280, 2016	Review
177	Hayashi Y	金沢大学附属病院脳神経外科	Development of symptoms in arachnoid cysts; Arachnoid cyst: Pathophysiology, Diagnosis and Treatment Options	Nova Science Publishers, Inc. Chapter 1;1-34, 2016	Review
178	Hayashi Y, Kita D, Iwato M, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Midline dural filum of the sellar floor: its relationship to the septum attachment to the sellar floor and the ossification in the sphenoid sinus.	Clin Neurol Neurosurg 147:53-58, 2016	Original Article
179	Hayashi Y, Kita D, Fukui I, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Pediatric symptomatic Rathke cleft cyst compared to cystic craniopharyngioma.	Child Nervous System. 32(9):1625-1632, 2016	Original Article

180	Hayashi Y, Kita D, Watanabe T, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Prediction of postoperative diabetes insipidus using morphological hyperintensity patterns in the pituitary stalk on magnetic resonance imaging after transphenoidal surgery for sellar tumors.	Pituitary 19(6):552-559, 2016	Original Article
181	Misaki K, Uchiyama N, Nambu I, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Optimizing the volume of the initial framing coil to facilitate tight packing of intracranial aneurysms.	World Neurosurg 2016; 90, 397-402	Original Article
182	Misaki K, Uchiyama N, Mohri M, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Pseudoaneurysm formation caused by the withdrawal of a Trevo ProVue stent at a tortuous cerebral vessel: a case report.	Acta Neurochir (Wien) 2016; 158, 2085-2088	Case report
183	Sasagawa Y, Tachibana O, Doai M, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Carotid artery protrusion and dehiscence in patients with acromegaly.	Pituitary. 2016 Oct;19(5):482-7.	Original Article
184	Kinoshita M, Nakajima R, Shinohara H, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Chronic spatial working memory deficit associated with the superior longitudinal fasciculus: a study using voxel-based lesion-symptom mapping and intraoperative direct stimulation in the right prefrontal glioma surgery.	J Neurosurg, 125(4):1024-1032, 2016.	Original Article
185	Kinoshita M, Miyashita K, Furuta T, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Clinical neural networks in awake surgery for gliomas.	Neurol Med Chir, 56(11):674-86, 2016	Review

186	Fukui I, Hayashi Y, Nambu I, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Pituitaryoma Associated with Serum Adrenocorticotropic Hormone Elevation.	Open Journal of Modern Neurosurgery 2016; 6, 190-198	Case report
187	Kamide T, Mohri M, Misaki K, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Intracranial aneurysm formation after radiotherapy for medulloblastoma.	Surg Neurol Int 2016; 21;7 (Suppl 37), S880-S882.	Case report
188	Oishi M, Hayashi Y, Fukui I, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Xanthomatous hypophysitis associated with autoimmune disease in an elderly patient: A rare case report.	Surg Neurol Int 2016; 7(Suppl 16), S449-53	Case report
189	Tsutsui T, Miyashita K, Sabit H, 他	金沢大学附属病院脳神経外科	Acute progression of recurrent meningioma during luteinizing hormone-releasing hormone agonist treatment for prostate cancer.	World Neurosurg 91:670 e1-6, 2016.	Case report
190	Nakajima K, Matsumoto N, Kasai T, 他	金沢大学附属病院核医学診療科	Normal values and standardization of parameters in nuclear cardiology: Japanese Society of Nuclear Medicine working group database	Ann Nucl Med. 2016;30:188-99	Original Article
191	Nakajima K, Nakata T, Matsuo S, 他	金沢大学附属病院核医学診療科	Creation of mortality risk charts using 123I meta-iodobenzylguanidine heart-to-mediastinum ratio in patients with heart failure: 2- and 5-year risk models	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2016;17:1138-45	Original Article

192	Nakajima K, Yamada M	金沢大学附属病院核医学診療科	(123)I-Meta-iodobenzylguanidine Sympathetic Imaging: Standardization and Application to Neurological Diseases	Chonnam Med J. 2016;52:145-50	Review
193	Nakajima K, Okuda K, Matsuo S, 他	金沢大学附属病院核医学診療科	Comparison of phase dyssynchrony analysis using gated myocardial perfusion imaging with four software programs: Based on the Japanese Society of Nuclear Medicine working group normal database.	J Nucl Cardiol 2017;24:611-621	Original Article
194	Nakajima K, Scholte A, Nakata T, 他	金沢大学附属病院核医学診療科	Cardiac sympathetic nervous system imaging with 123I-meta-iodobenzylguanidine: Perspectives from Japan and Europe	J Nucl Cardiol. 2017;24:952-60	Review
195	Satoru Watanabe, Kenichi Nakajima, Atsushi Mizokami, Hiroshi 他	金沢大学附属病院核医学診療科	Bone scan index of the jaw: a new approach for evaluating early-stage anti-resorptive agents-related osteonecrosis	Ann Nucl Med. 31(3):201-210, 2017	Original Article
196	Shinro Matsuo	金沢大学附属病院核医学診療科	Cardiac hybrid or fusion imaging of CT and SPECT.	Int J Radiol Med Imag 2016, 2: 112	Review
197	Shinro Matsuo, Takafumi Mochizuki, Satoru Takeda, 他	金沢大学附属病院核医学診療科	Cardiac time-of-flight PET for evaluating myocardial perfusion with 13N-ammonia: Phantom studies for estimation of defect and heterogeneity.	Ann Nucl Cardiol 2(1): 73-78; 2016.	Original Article

198	Shinro Matsuo, Keiichiro Yoshinaga.	金沢大学附属病院核医学診療科	<sup>18</sup> F-FDG-PET Viability assessment for the improvements of prognosis of the patients with left ventricular dysfunction - Is this ready for clinical practice ? -	Ann Nucl Cardiol 2(1):53-55; 2016.	Original Article
199	Hirai M., Kitahara H., Kobayashi Y., 他	金沢大学附属病院歯科口腔外科	Regulation of PD-L1 expression in a high-grade invasive human oral squamous cell carcinoma microenvironment.	2017 Jan;50(1):41-48.	Original Article
200	Kitahara H., Hirai M., Kato K., 他	金沢大学附属病院歯科口腔外科	Eribulin sensitizes oral squamous cell carcinoma cells to cetuximab via induction of the mesenchymal-to-epithelial transition	2016 Dec;36(6):3139-3144.	Original Article
201	Nanjo S, Arai S, Wang W, 他	金沢大学附属病院がんセンター	MET Copy Number Gain Is Associated with Gefitinib Resistance in Leptomeningeal Carcinomatosis of EGFR-mutant Lung Cancer.	Mol Cancer Ther 2017 Mar;16(3):506-515.	Original Article
202	Kitai H, Ebi H.	金沢大学附属病院がんセンター	Key roles of EMT for adaptive resistance to MEK inhibitor in KRAS mutant lung cancer.	Small GTPases. 2016 Jul 8:1-5.	Original Article
203	Tanimoto A, Takeuchi S, Yaegashi H, 他	金沢大学附属病院がんセンター	Recurrence of renal cell carcinoma diagnosed using contralateral adrenal biopsy with endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	Mol Clin Oncol 2016 ; 4(4):537-40	Original Article

204	Kotani H, Ebi H, Kitai H, 他	金沢大学附属病院がんセンター	Co-active receptor tyrosine kinases mitigate the effect of FGFR inhibitors in FGFR1-amplified lung cancers with low FGFR1 protein expression.	Oncogene 2016 Jul 7;35(27):3587-97.	Original Article
205	Ohtsubo K, Mouri H, Yamashita K, 他	金沢大学附属病院がんセンター	Endoscopic ultrasonographic evaluation of therapeutic intervention for non-alcoholic early chronic pancreatitis.	JOP 2016; 17 (6): 629-36	Original Article
206	Takata T, Ichikawa K, Mitsui W, 他	金沢大学附属病院放射線部	Object shape dependency of in-plane resolution for iterative reconstruction of computed tomography	Physica Medica Volume 33, January 2017, Pages 146-151	Original Article
207	Naoki Mugii, Minoru Hasegawa, Takashi Matsushita, 他	金沢大学附属病院リハビリテーション部	Oropharyngeal dysphagia in dermatomyositis: Associations with clinical and laboratory features including autoantibodies	PLoS One. 2016 May 11;11(5)	Original Article
208	Yoshikazu Goto	金沢大学附属病院救急部	Duration of Prehospital Cardiopulmonary Resuscitation and Favorable Neurological Outcomes for Pediatric Out-of-Hospital Cardiac Arrests: A Nationwide, Population-Based Cohort Study	Circulation. 2016 Dec 20;134(25):2046-2059	Original Article
209	Yoshikazu Goto	金沢大学附属病院救急部	Subsequent Shockable Rhythm During Out-of-Hospital Cardiac Arrest in Children With Initial Non-Shockable Rhythms: A Nationwide Population-Based Observational Study	J Am Heart Assoc. 2016 Oct 17;5(10)	Original Article

210	Shin-ichiro Takashima	金沢大学附属病院救急部	Altered gene expression in T-cell receptor signalling in peripheral blood leucocytes in acute coronary syndrome predicts secondary coronary events.	Open Heart. 2016 Jun 30;3(1)	Original Article
211	Funada A, Goto Y, Tada H, 他	金沢大学附属病院救急部	Age-specific differences in prognostic significance of rhythm conversion from initial non-shockable to shockable rhythm and subsequent shock delivery in out-of-hospital cardiac arrest. Resuscitation 108, 61-7, 2016	Resuscitation. 2016 Nov;108:61-67	Original Article
212	Funada A, Goto Y, Maeda T, 他	金沢大学附属病院救急部	Improved survival with favorable neurological outcome in elderly individuals with out-of-hospital cardiac arrest in Japan: a nationwide observational cohort study. Circ J 80, 1153-62, 2016	Circ J. 2016 Apr 25;80(5):1153-62	Original Article
213	Tetsuo Maeda, Akira Yamashita, Yasuhiro Myojo, 他	金沢大学附属病院救急部	Augmented survival of out-of-hospital cardiac arrest victims with the use of mobile phones for emergency communication under the DA-CPR protocol getting information from callers beside the victim.	Resuscitation, 107, 80-87, 2016	Original Article
214	Koji Sato, Masaki Okajima, Takumi Taniguchi	金沢大学附属病院集中治療部	The electrolarynx as a communication tool for mechanically ventilated critically ill patients: a prospective feasibility study	INTENSIVE CARE MEDICINE 42(8) 1299-300 2016 Aug.	Original Article
215	Itai S, Suga Y, Hara Y, 他	金沢大学附属病院薬剤部	Co-administration of Dexamethasone Increases Severity and Accelerates Onset Day of Neutropenia in Bladder Cancer Patients on Methotrexate, Vinblastin, Adriamycin and Cisplatin Chemotherapy: A Retrospective Cohort Study	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences 3:3 (2017) Jan	Original Article

6件

計215件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織および組織運営に関する事項	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 4 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 1 回
・ 研修の主な内容 臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わる予定の者を対象に、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科（部）に所属し、大学病院（医員など）及び関連病院を循環しながら修練を行い、それぞれの学会等の専門医、あるいは認定医の資格の取得を目指すコースです。内科プログラム（所属する臓器別内科（診療科）の他の内科系診療科でも修練を行う等複数の診療科が協力連携して実施するプログラム）や総合診療を専門とする医師となるプログラムも可能となっています。診療技術の習得だけでなく、臨床研究も行うことが可能です。

2 研修の実績

研修医の人数	156人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
金子 周一	消化器内科	科長	35年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	29年	
川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	30年	
山岸 正和	循環器内科	科長	39年	
和田 隆志	腎臓内科	科長	29年	
笠原 寿郎	呼吸器内科	科長	31年	
中尾 眞二	血液内科	科長	37年	
野村 英樹	総合診療科	科長	29年	
山田 正仁	神経内科	科長	37年	
三邊 義雄	神経科精神科	科長	39年	
谷内江 昭宏	小児科	科長	38年	
香田 渉	放射線科	科長	22年	
熊野 智康	放射線治療科	科長	19年	
竹原 和彦	皮膚科	科長	38年	
小川 恵子	漢方医学科	科長	20年	
森山 秀樹	内分泌・総合外科	科長	15年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	32年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	26年	
太田 哲生	肝胆膵・移植外科	科長	38年	
井口 雅史	乳腺科	科長	22年	
伏田 幸夫	胃腸外科	科長	31年	
土屋 弘行	整形外科	科長	34年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	30年	
杉山 和久	眼科	科長	33年	
吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	31年	
藤原 浩	産科婦人科	科長	34年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	26年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	23年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	31年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション科	科長	25年	
後藤 由和	救急科	科長	33年	
谷口 巧	集中治療部	科長	26年	
矢野 聖二	がんセンター	センター長	27年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	29年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

- ・新規採用職員オリエンテーション（詳細別紙）

新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。

・研修の期間・実施回数

- ・平成28年4月1日（金）、平成28年4月4日（月）、平成28年4月5日（火）

・研修の参加人数

- ・128名（うち、医師・歯科医師以外の者は89名）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

1. ハラスメント防止研修
2. 安全衛生講習会（患者暴力に関する研修）
3. 接遇研修
4. コンプライアンスに係る個別事項（個人情報、情報セキュリティ、研究費等の適正な執行）に関する研修会
5. 安全衛生講習会（メンタルトレーニング）

・研修の期間・実施回数

1. 平成28年6月23日（木）
2. 平成28年7月8日（金）
3. 平成28年10月11日（火）・平成28年10月31日（月）

4. 平成28年10月12日（水）

5. 平成29年2月8日（水）

・研修の参加人数

1. 157名

2. 95名

3. 平成28年10月11日／263名・平成28年10月31日／240名

4. 208名

5. 89名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## 平成28年度新規採用職員オリエンテーション実施要項

- 1 目的 新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質の向上と業務能率の増進を図ることを目的とする。
- 2 期間 平成28年4月1日（金）、4日（月）、5日（火） 3日間
- 3 場所 外来診療棟4階 宝ホール
- 4 対象者 128名（平成28年4月1日現在）  
内訳：研修医 39名  
1年：24名（うち歯科：3名）、2年：15人  
看護部 72名  
その他 17名
- 5 内容 詳細は別添「日程表」のとおり

# 平成28年度 新規採用職員オリエンテーション日程表

日程：平成28年4月1日（金）、4日（月）、5日（火）  
会場：宝ホール（外来診療棟4階）

	4月1日（金）	4月4日（月）	4月5日（火）
8:30	受 付 (8:30~8:40 10分間)		
9	辞令交付(病院長) (8:40~9:00 20分間)	<b>リスクマネジメントについて</b> 医療安全管理部長 医療安全管理部 副部長(看護) 医療安全管理部 副部長(薬剤) ME機器管理センター 臨床工学技士長 (8:30~10:10 100分間)	感染対策について ICT(医師) ICT(看護師) ICT(薬剤師) ICT(臨床検査技師) (8:30~10:10 100分間)
	本院幹部職員の紹介 (9:00~9:05 5分間)		
	病院長訓示 (9:05~9:10 5分間)		
	病院の概要について (9:10~9:25 15分間)		
	オリエンテーション日程説明 (9:25~9:30 5分間)		
	経営戦略について 病院長補佐(経営企画、医療情報担当) 経営管理課長 (9:30~10:00 30分間)		
10	個人情報取り扱いについて 病院情報システムの利用について 経営企画部長、公認医療情報システム監査人(検査部 臨床検査技師長) (10:00~10:30 30分間)		休憩(10:10~10:25 15分間)
	休憩(10:30~10:45 15分間)	<b>医療人として必要な基本姿勢・態度</b> 看護部副看護部長、看護師長 医療安全管理部、医事課 (10:25~11:25 60分間)	診療報酬制度について 診療録の記載について 医事課診療情報管理士 (10:25~10:55 30分間)
	本学が経理する全ての経費の適正な執行について 経営管理課長 (10:45~11:15 30分間)		ハラスメントの防止について 本学ハラスメント相談員 (11:00~12:00 60分間)
11	事務手続き等について ・勤務時間関係 ・赴任旅費 ・諸手当等 総務課各担当係 (11:15~12:00 45分間)		臨床倫理について 臨床倫理コンサルティングチーム (11:30~12:00 30分間)
12	昼 食 (12:00~13:00)		
13	医療用放射線の安全性について 放射線部 診療放射線技師長 (13:00~14:00 60分間)	情報セキュリティ対策について 情報化推進室事務情報システム係 (13:00~13:15 15分間)	<b>飲酒運転の根絶について</b> 金沢中警察署 (13:00~14:00 60分間)
14	チーム医療と看護業務 看護部副看護部長 (14:05~14:50 45分間)	防火管理について 防火訓練 災害対応 施設説明 総務課総務係長 (13:15~15:00 105分間) ※消火器、消火栓等を使用して屋外で行います。動きやすく、汚れてもよい服装で参加してください。	
	事務連絡(14:50~14:55 5分間)		先輩からのメッセージ 「1年間(新人時代)を振り返って」 H27採用職員、若手職員等 (14:05~14:55 50分間)
15	閉 会 (14:55~15:00 5分間)		
16	初期臨床研修医 (研修医・専門医総合教育センターによる研修)	初期臨床研修医 (研修医・専門医総合教育センターによる研修)	初期臨床研修医 (研修医・専門医総合教育センターによる研修)
17	看護師 (看護部による研修)	看護師 (看護部による研修)	看護師 (看護部による研修)
	左記以外の職員 ホスピタル・オリエンティング (所属診療科、部、課において適宜行う。)	左記以外の職員 職場研修	左記以外の職員 各職場へ

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可（新規採用医員必須）

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可（新規採用医員優先）

職種毎の研修になりますので、所属部署の指示に従ってください。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器内科長 金子 周一</li> <li>・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘</li> <li>・循環器内科長 山岸 正和</li> <li>・血液内科長 中尾 眞二</li> <li>・神経内科長 山田 正仁</li> <li>・小児科長 谷内江 昭宏</li> <li>・放射線科長 香田 渉</li> <li>・皮膚科長 竹原 和彦</li> <li>・漢方医学科長 小川 恵子</li> <li>・呼吸器外科長 松本 勲</li> <li>・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生</li> <li>・乳腺科長 井口 雅史</li> <li>・脊椎・脊髄外科長 村上 英樹</li> <li>・眼科長 杉山 和久</li> <li>・産科婦人科長 藤原 浩</li> <li>・脳神経外科長 中田 光俊</li> <li>・歯科口腔外科長 川尻 秀一</li> <li>・救急科長 後藤 由和</li> <li>・薬剤部長 崔 吉道</li> <li>・経営管理課長 竹中 隆宏</li> <li>・内分泌・代謝内科長 篁 俊成</li> <li>・呼吸器内科長 笠原 寿郎</li> <li>・腎臓内科長 和田 隆志</li> <li>・総合診療科長 野村 英樹</li> <li>・神経科精神科長 三邊 義雄</li> <li>・子どものこころの診療科長 菊知 充</li> <li>・放射線治療科長 熊野 智康</li> <li>・形成外科長 小室 明人</li> <li>・心臓血管外科長 竹村 博文</li> <li>・胃腸外科長 伏田 幸夫</li> <li>・内分泌・総合外科長 森山 秀樹</li> <li>・整形外科長 土屋 弘行</li> <li>・泌尿器科長 溝上 敦</li> <li>・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一</li> <li>・麻酔科蘇生科長 谷口 巧</li> <li>・核医学診療科長 絹谷 清剛</li> <li>・リハビリテーション科長 八幡 徹太郎</li> <li>・病理診断科長 大井 章史</li> <li>・総務課長 米林 利晃</li> <li>・医事課長 北村 浩一</li> </ul>	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	に掲げる事項 規則第二十二條の三第二項	病院日誌	医事課
		各科診療日誌	医事課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	看護部、医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	医事課
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	項に掲げる事項 規則第二十二條の三第三項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営管理課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課 医薬保健系事務部
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	一条の第一	規則第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況			医事課

外来病歴ファイルは、1患者1ファイル、入院病歴ファイルは、1入院期間1ファイル。診療録の院外持ち出しは禁止されている。

		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医事課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医事課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME機器管理センター、放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医事課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	なし
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課、総務課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	①. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
閲覧担当者氏名	総務課長 米林 利晃	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 諸記録の開示（閲覧を含む）を請求する者（以下「開示請求者」）は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。 国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。 開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が 2 回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 ( 有 )</p> <p>・ 開催状況：年 13 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること。</p> <p>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</p> <p>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</p> <p>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</p> <p>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</p> <p>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</p> <p>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【平成28年度】</p> <p>「医療機器安全管理」 4/21 , 「RRT報告」 7/25 , 「医薬品安全 (上)」 7/28 , 「安全な輸血に向けて」 9/26 , 「病院の医療安全の体制が変わります！」 10/4 , 「せん妄などで、意思疎通を図りにくい患者に用いられ易い (身体抑制) その有害性を知る」 11/4 「医薬品安全 (下)」 12/6 , 「臨床倫理の基本、実践、教育法」 2/1 , 「呼吸療法に関わる安全管理」 2/28</p> <p>【その他】 新規採用者研修 (随時開催)</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ○事故報告等の分析結果を現場へフィードバック | ○医療従事者の医療事故防止に関する教育    |
| ○事故防止のための基礎知識の提供       | ○事故報告書等から必要なマニュアルを作成   |
| ○インシデントサマリーに再発防止策を提案   | ○事故防止マニュアルの見直し         |
| ○GRM等による医療現場のラウンド      | ○院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布 |
| ○院外の事故情報の提供による注意喚起     |                        |

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項</li><li>3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>7. 抗菌薬の適正使用に関する基本方針</li><li>8. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること。</li><li>(2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること。</li><li>(3) 院内感染についての教育活動に関すること。</li><li>(4) 院内感染の調査に関すること。</li><li>(5) 感染制御部の運営に必要な事項に関すること。</li><li>(6) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項。</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【平成28年度】 「結核：診療と予防」8/4 「個人防護具を正しく着脱しよう ミニレクチャー&amp;講演」9/5 「院内における肝炎ウイルス感染対策」12/20 「栄養ゼミナール」12/7 「褥瘡対策講演会」3/1</p> <p>【その他】新規採用者研修（随時開催）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価</li><li>(2) ICTラウンドによる感染対策実施行動の確認と指導</li><li>(3) 職業感染防止対策のための計画・実施・改善</li><li>(4) 感染管理システムを活用した情報共有</li><li>(5) 感染制御担当者 (ICM) による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底</li><li>(6) 院内感染対策マニュアルの改訂</li></ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成28年度実施</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療安全研修（医薬品安全管理・上半期：平成28年7月28日開催） ① 医薬品の副作用に関連する制度について ② 医薬品の損耗について</li><li>2. 医療安全研修（医薬品安全管理・下半期：平成28年12月6日開催） ① 持参薬管理と入力運用 ② 医薬品のリスクコミュニケーションツール ③ 医療法施行規則改正について</li></ol> <p>平成29年度実施</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療安全研修（緩和ケアセンター研修：平成29年4月17日開催） ① 痛みの評価と目標設定 ② 鎮痛薬の作用・副作用と患者指導 ③ 疼痛緩和治療（術後痛・がん疼痛）</li><li>2. 医療安全研修（医薬品安全管理・上半期：平成29年7月18日開催） ① 医薬品の安全使用について</li></ol>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (☑・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 医薬品の採用</li><li>2) 医薬品情報の収集・管理・提供</li><li>3) 医薬品の購入管理</li><li>4) 外来および入院患者への医薬品の処方・交付</li><li>5) 病棟・中央診療施設・外来部門における医薬品の管理</li><li>6) 外来および入院患者への情報提供および薬学的指導</li><li>7) 院内製剤の取り扱い</li><li>8) ハイリスク薬の取り扱い</li><li>9) 放射性医薬品の安全管理・安全使用</li></ol>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に適宜報告するとともに、根拠資料（ガイドライン、文献等）を集積・保管する。</p> <p>未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書その他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。</p> <p>医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネージャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年50回
・ 研修の主な内容： 有効性、安全性に関する事項、使用方法、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 ( ☑・無 ) ・ 保守点検の主な内容： 外観チェック、動作チェック、漏れ電流チェック、精度管理、バッテリー性能チェック	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 臨床工学技士による病棟等見回りの強化 バッテリー等交換部品の交換基準の見直し	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・ 責任者の資格 (医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長 (医療安全担当) が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 6 名)
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報管理担当者は院内の医薬品の使用状況を月 1 回確認し、その結果を踏まえて禁忌等の添付文書情報や医薬品安全管理に関わる情報を整理する。その他の情報源として PMDA メディナビや製薬メーカーからの提供情報、学術誌等を活用する。医薬品情報管理担当者は、情報整理の結果を医薬品安全管理責任者に報告する。医薬品安全管理責任者は緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや紙媒体での情報周知を行う。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も行う。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟担当者および調剤担当者が処方監査で未承認等の医薬品の処方を把握し、処方医等に処方の必要性や根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性の確認を行う。対応内容は副薬剤部長が集約して医薬品安全管理責任者に適宜報告するとともに、一覧表と根拠資料 (ガイドラインや文献) をファイルし事例を集積する。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有)</p> <p>・ 担当者の所属・職種: 別紙のとおり</p> <p>(所属: , 職種 ) (所属: , 職種 )</p> <p>(所属: , 職種 ) (所属: , 職種 )</p> <p>(所属: , 職種 ) (所属: , 職種 )</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( 有 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： インフォームドコンセント責任者及び医療安全管理者等による IC 監査を実施した。(年3回) 主な指導内容：規定に定められた式の説明文書、同意書を使用すること IC を行った際の説明内容や患者の理解度等の診療録への記載</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 各診療科の監査担当医が実施した診療録監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。(年4回) 主な指導内容：入院診療計画書の作成と適切な記載、指導管理料の指導内容や検査値の記載、IC を行った際の説明内容や患者の理解度等の記載、実施した検査・手術・麻酔に関する要点の経過記録への記載及び診療の都度、経過記録への記載等</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（12）名 うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名 うち放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち臨床工学士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち事務職：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。 (3) 安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。 (4) インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。 (5) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。 (6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。 (7) 患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。 (8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。 (9) 金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。 (10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。</p> <p>※現在、専従薬剤師1名、専従看護師1名、専任医師2名を配置しているが、平成32年3月までに専従医師を配置予定である。</p>	

※モニタリングについては、入院患者に対する肺血栓塞栓症リスク評価と予防策の実施率。注射薬投与時の PDA 認証の実施率。医療安全研修の受講状況の把握及びアンケートにより理解度の調査。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：
  - （1）高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
  - （2）高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
  - （3）その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：
  - （1）高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
  - （2）高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
  - （3）その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 監査委員会の設置状況

有

- ・監査委員会の開催状況：年〇回
- ・活動の主な内容：
  - （1）医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長（以下「病院長」という。）等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。
  - （2）必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。
  - （3）前2号に掲げる業務について、その結果を公表すること。

(4) その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項

- ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( 無 )
- ・ 委員名簿の公表の有無 ( 有 )
- ・ 委員の選定理由の公表の有無 ( 有 )
- ・ 公表の方法：本院 Web サイトに掲載

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
秋野 裕信	福井大学医学部附属病院医療環境制御センター・医療安全管理部	○	医療安全管理部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・ 	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・ 	1
和田真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べることができるため	有・ 	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年152件【H28.10-H29.3】
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年74件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - (1) 医療に係る安全管理対策に関すること。
  - (2) 医療事故防止対策に関すること。
  - (3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。
  - (4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。
  - (5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。
  - (6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。
  - (7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。
  - (8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。
  - (9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（無）H29年度実施予定
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（無）H29年度実施予定
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

相談内容：○医療安全、診療などに関すること ○窓口業務（受付等）における接遇、対応に関すること ○医師、看護師、薬剤師等の医療技術職員、事務職員等の接遇、対応に関すること ○施設、環境、清掃等に関すること○その他、当院に関すること

相談責任者：副院長（医療安全担当）

医療安全管理者：ゼネラルリスクマネジャー

相談担当者：医療安全管理部 部長、副部長、ゼネラルリスクマネジャー（医療安全管理者）、部員（医師、看護師、薬剤師、技師、事務職員）、各診療科の医師

相談連絡先：金沢大学附属病院 医事課医療安全係

相談時間：午前8時30分～午後5時

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

平成28年7月28日「医薬品安全（上）」

平成28年10月4日「病院の医療安全の体制が変わります！」

平成28年12月6日「医薬品安全（下）」

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

無

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## 規則第9条の23第1項第1号から第15号に掲げる事項の実施状況

## ③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

## 担当者の所属・職種

所属	職種	担当	氏名
薬剤部	薬剤師	医薬品情報管理担当者	板井 進悟
薬剤部	薬剤師	調剤担当	原 祐輔
薬剤部	薬剤師	調剤担当	竹田 和喜
薬剤部	薬剤師	調剤担当	前田 大蔵
薬剤部	薬剤師	調剤担当	谷本 定子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	長田 幸恵
薬剤部	薬剤師	調剤担当	横井 祐子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	山本 奈歩
薬剤部	薬剤師	調剤担当	橋本 さつき
薬剤部	薬剤師	調剤担当	矢口 邦子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	川岸 篤史
薬剤部	薬剤師	調剤担当	川上 貴裕
薬剤部	薬剤師	調剤担当	磯田 和也
薬剤部	薬剤師	調剤担当	橋本 千明
薬剤部	薬剤師	調剤担当	三坂 恒
薬剤部	薬剤師	調剤担当	山崎 昌子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	中谷 絵莉
薬剤部	薬剤師	調剤担当	志村 裕介
薬剤部	薬剤師	調剤担当	樋口 真衣子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	松本 法子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	依田 ゆり子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	東 昂翔
薬剤部	薬剤師	調剤担当	下川 頌子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	長井 真紀
薬剤部	薬剤師	調剤担当	太田 侑歩
薬剤部	薬剤師	調剤担当	五十嵐 佑貴
薬剤部	薬剤師	調剤担当	水野 ふみ
薬剤部	薬剤師	調剤担当	西上 真
薬剤部	薬剤師	調剤担当	寺田 早苗
薬剤部	薬剤師	調剤担当	北間 基子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	高林 真貴子
薬剤部	薬剤師	調剤担当	磯田 紗弥香
薬剤部	薬剤師	調剤担当	小川 由紀
薬剤部	薬剤師	病棟担当	小柴 美紀恵
薬剤部	薬剤師	病棟担当	坂田 明子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	中出 順也
薬剤部	薬剤師	病棟担当	坪内 清貴
薬剤部	薬剤師	病棟担当	浅井 泰詞
薬剤部	薬剤師	病棟担当	塩本 佑季子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	中川 祐紀子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	吉田 幸司
薬剤部	薬剤師	病棟担当	加藤 彩香
薬剤部	薬剤師	病棟担当	宮崎 あゆみ
薬剤部	薬剤師	病棟担当	澁澤 宗
薬剤部	薬剤師	病棟担当	伊藤 智代
薬剤部	薬剤師	病棟担当	中川 有衣
薬剤部	薬剤師	病棟担当	高廣 理佳子
薬剤部	薬剤師	病棟担当	毛利 香菜
薬剤部	薬剤師	病棟担当	島田 拓弥
薬剤部	薬剤師	病棟担当	木村 円
薬剤部	薬剤師	病棟担当	森永 光
薬剤部	薬剤師	病棟担当	荒木 美帆

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成 27 年 5 月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院Webサイトにて情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム、高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム、悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとして緩和ケアチーム、褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図るため褥瘡対策チームを置いている。また、倫理的な問題を検討する場、解決困難な倫理的問題への医療者の相談対応・解決への支援を行う体制として、臨床倫理コンサルティングチームを設置している。	



(様式第 8)

金大病総第 70 号  
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
山崎 光悦

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

今年度から国立大学附属病院長会議等が実施する研修に参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（12）名  
うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（5）名  
うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名  
うち放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち臨床工学士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち事務職：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

現在、専従薬剤師 1 名、専従看護師 1 名、専任医師 2 名を配置しているが、平成 32 年 3 月までに専従医師を配置予定である。